

富山県
「結婚等に関する県民意識調査」
アンケート調査 報告書

平成 23 年 12 月～平成 24 年 1 月実施

富山県

★ この冊子のみかた ★

1. 結果は百分比で表示した。その百分率は小数点第2位を四捨五入した。したがって個々の比率の合計と全体を示す数値とは一致しないことがある。
2. 図表中に「N」と記してあるのは、質問に対する回答者総数で、回答比率(%)が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
3. 図表中に「M. T. (Multiple Total)」と記してあるのは、1つの質問に対して2つ以上の回答(複数回答)を求めた場合の回答数の合計を回答者数(N)で割った比率であり、その値は100%を超える。
4. 図表中に「NA」と記してあるのは、回答しなかった人の百分率を示している。

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の項目	1
3	調査の設計	1
4	回収の結果	1
5	回収された標本の特性	2
II	調査結果の概要	5
1	結婚の価値観・意思	5
2	結婚の条件	7
3	出会いの環境	10
4	結婚していない理由	12
5	異性交際の不安	14
6	未婚化・晩婚化の意識	16
7	結婚支援への考え・要望	19
8	出産の意思	24
9	少子化対策への考え・要望	25
10	自由回答	32
	使用した調査票	36

I 調査の概要

1 調査の目的

富山県では最近急激に未婚化、晩婚化が進行し、出生率低下の要因のひとつとなっている。一方で、未婚者の多くは結婚を望んでおり、県としても結婚を望む男女への支援策が必要になっている。

今回の「結婚等に関する県民意識調査」では、結婚に向けた公的支援の方向性を探ることを想定し、20代、30代の県民の結婚および子育てについての意識を把握することを目的とした。

2 調査の項目

- (1) 結婚の価値観・意思
- (2) 結婚の条件
- (3) 出会いの環境
- (4) 結婚していない理由
- (5) 異性交際の不安
- (6) 未婚化・晩婚化の意識
- (7) 結婚支援への考え・要望
- (8) 出産の意思
- (9) 少子化対策への考え・要望

3 調査の設計

- (1) 調査対象 富山県在住の20代、30代の男女
(平成23年12月1日現在の年齢)
- (2) 対象数 2,000人
- (3) 調査期間 平成23年12月27日(火)～平成24年1月30日(月)
- (4) 調査方法 行政単位によって県内を15のブロックに層化、人口に応じて比例配分し住民基本台帳に基づき各層ごとに一定数のサンプルを抽出、調査票を郵送発送／郵送回収した。

4 回収の結果

- | | |
|-----------|-----------------|
| (1) 標本数 | 2,000 (100%) |
| (2) 回収数 | 519 (回収率：26.0%) |
| (3) 有効回答数 | 515 |

5 回収された標本の特性

上段：人数

下段：%

(1) 性別と年代

	合計	20代	30代	5歳区分			
				20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
全体	515	171	344	78	93	165	179
	100.0	33.2	66.8	15.1	18.1	32.0	34.8
男性	182	54	128	24	30	59	69
	35.3	29.7	70.3	13.2	16.5	32.4	37.9
女性	333	117	216	54	63	106	110
	64.7	35.1	64.9	16.2	18.9	31.8	33.0

(2) 住まい

	全体	富山市 (旧富山市)	富山市 (旧大沢野町ほか)	高岡市	魚津市	氷見市	滑川市	黒部市	砺波市	小矢部市	南砺市	射水市	舟橋村	上市町	立山町	入善町	朝日町	不明
全体	515	148	63	86	16	14	15	24	19	15	30	49	2	10	11	10	2	1
	100.0	28.7	12.2	16.7	3.1	2.7	2.9	4.7	3.7	2.9	5.8	9.5	0.4	1.9	2.1	1.9	0.4	0.2
男性	182	54	20	26	9	7	2	11	7	5	11	22	-	2	2	3	1	-
	100.0	29.7	11.0	14.3	4.9	3.8	1.1	6.0	3.8	2.7	6.0	12.1	-	1.1	1.1	1.6	0.5	-
女性	333	94	43	60	7	7	13	13	12	10	19	27	2	8	9	7	1	1
	100.0	28.2	12.9	18.0	2.1	2.1	3.9	3.9	3.6	3.0	5.7	8.1	0.6	2.4	2.7	2.1	0.3	0.3

(3) 職業

上段：人数
下段：%

	合計	自営業 (自由業、 家族従事 者を含む)	雇用者 (正社員、 公務員など の正規職 員)	パートタイ マー・派遣 等の非正 規雇用者	その他の 仕事	学生	家事	仕事は していない (無職)	不明
全体	515	26	295	100	8	28	38	20	-
	100.0	5.0	57.3	19.4	1.6	5.4	7.4	3.9	-
男性	182	14	138	9	3	12	-	6	-
	100.0	7.7	75.8	4.9	1.6	6.6	-	3.3	-
女性	333	12	157	91	5	16	38	14	-
	100.0	3.6	47.1	27.3	1.5	4.8	11.4	4.2	-

(4) 結婚の状況

		合計	結婚している (既婚)	結婚していない (未婚)
全体		515	290	225
		100.0	56.3	43.7
男性	合計	182	90	92
		100.0	49.5	50.5
	20代	54	13	41
		100.0	24.1	75.9
	30代	128	77	51
	100.0	60.2	39.8	
女性	合計	333	200	133
		100.0	60.1	39.9
	20代	117	35	82
		100.0	29.9	70.1
	30代	216	165	51
	100.0	76.4	23.6	

(5) 子どもの数

		合計	1人	2人	3人	4人以上	子どもは いない	不明
全体		515	75	132	31	2	255	20
		100.0	14.6	25.6	6.0	0.4	49.5	3.9
男性	合計	182	21	38	10	-	102	11
		100.0	11.5	20.9	5.5	-	56.0	6.0
	20代	54	5	1	-	-	46	2
		100.0	9.3	1.9	-	-	85.2	3.7
	30代	128	16	37	10	-	56	9
	100.0	12.5	28.9	7.8	-	43.8	7.0	
女性	合計	333	54	94	21	2	153	9
		100.0	16.2	28.2	6.3	0.6	45.9	2.7
	20代	117	15	7	1	-	88	6
		100.0	12.8	6.0	0.9	-	75.2	5.1
	30代	216	39	87	20	2	65	3
	100.0	18.1	40.3	9.3	0.9	30.1	1.4	

(6) 一番上の子どもの年齢

上段：人数
下段：%

		合計	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9～11歳	12歳以上	不明
子どもがいる人		240	53	53	58	40	33	3
		100.0	22.1	22.1	24.2	16.7	13.8	1.3
男性	合計	69	11	16	19	12	11	-
		100.0	15.9	23.2	27.5	17.4	15.9	-
	20代	6	3	2	1	-	-	-
		100.0	50.0	33.3	16.7	-	-	-
	30代	63	8	14	18	12	11	-
		100.0	12.7	22.2	28.6	19.0	17.5	-
女性	合計	171	42	37	39	28	22	3
		100.0	24.6	21.6	22.8	16.4	12.9	1.8
	20代	23	16	6	1	-	-	-
		100.0	69.6	26.1	4.3	-	-	-
	30代	148	26	31	38	28	22	3
		100.0	17.6	20.9	25.7	18.9	14.9	2.0

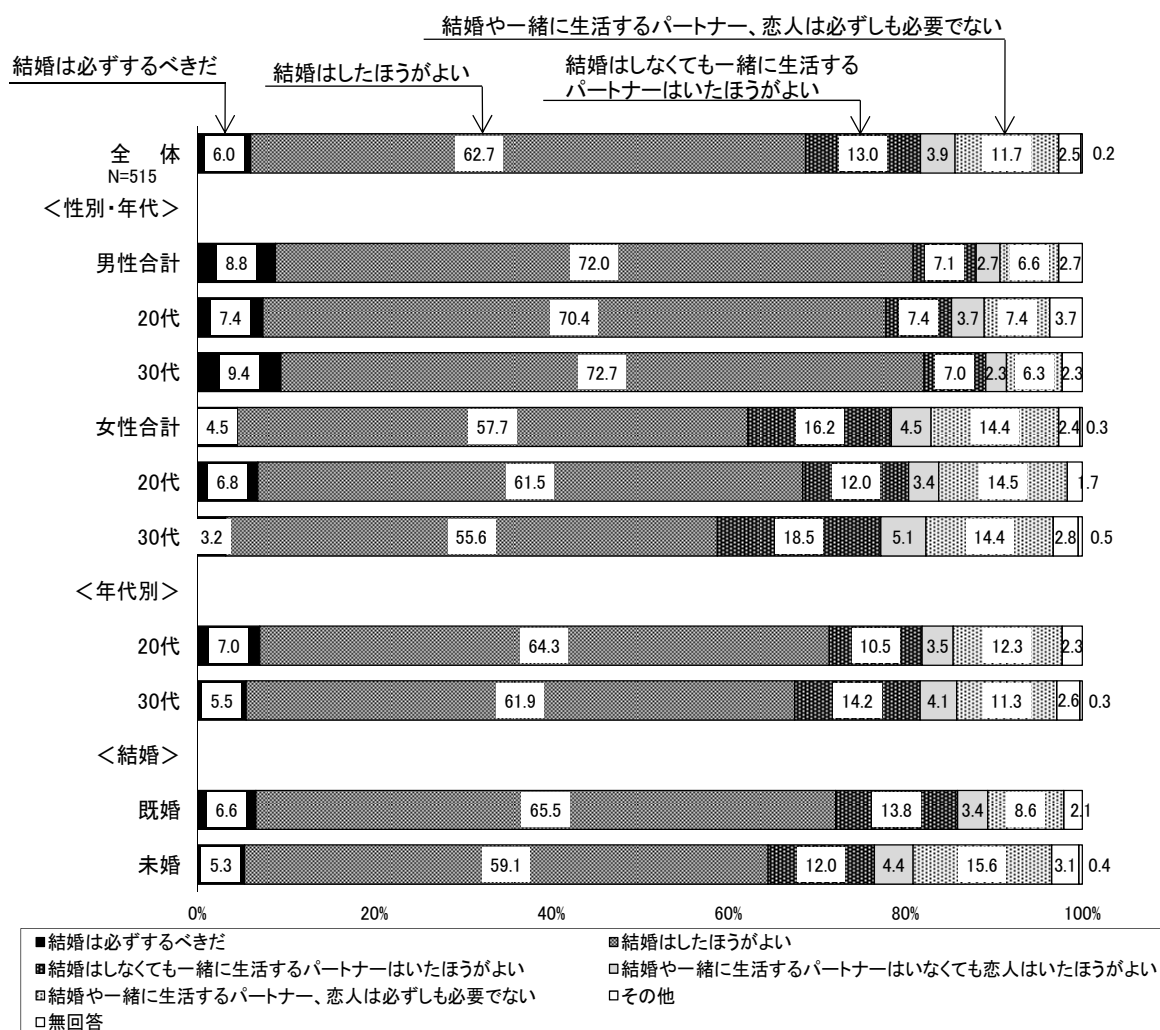
(7) 一番下の子どもの年齢

		合計	0～2歳	3～5歳	6～8歳	9歳以上	不明
2人以上 子どもがいる人		165	59	53	33	20	-
		100.0	35.8	32.1	20.0	12.1	-
男性	合計	48	18	15	6	9	-
		100.0	37.5	31.3	12.5	18.8	-
	20代	1	-	1	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-
	30代	47	18	14	6	9	-
		100.0	38.3	29.8	12.8	19.1	-
女性	合計	117	41	38	27	11	-
		100.0	35.0	32.5	23.1	9.4	-
	20代	8	7	1	-	-	-
		100.0	87.5	12.5	-	-	-
	30代	109	34	37	27	11	-
		100.0	31.2	33.9	24.8	10.1	-

Ⅱ 調査結果の概要

1 結婚の価値観・意思

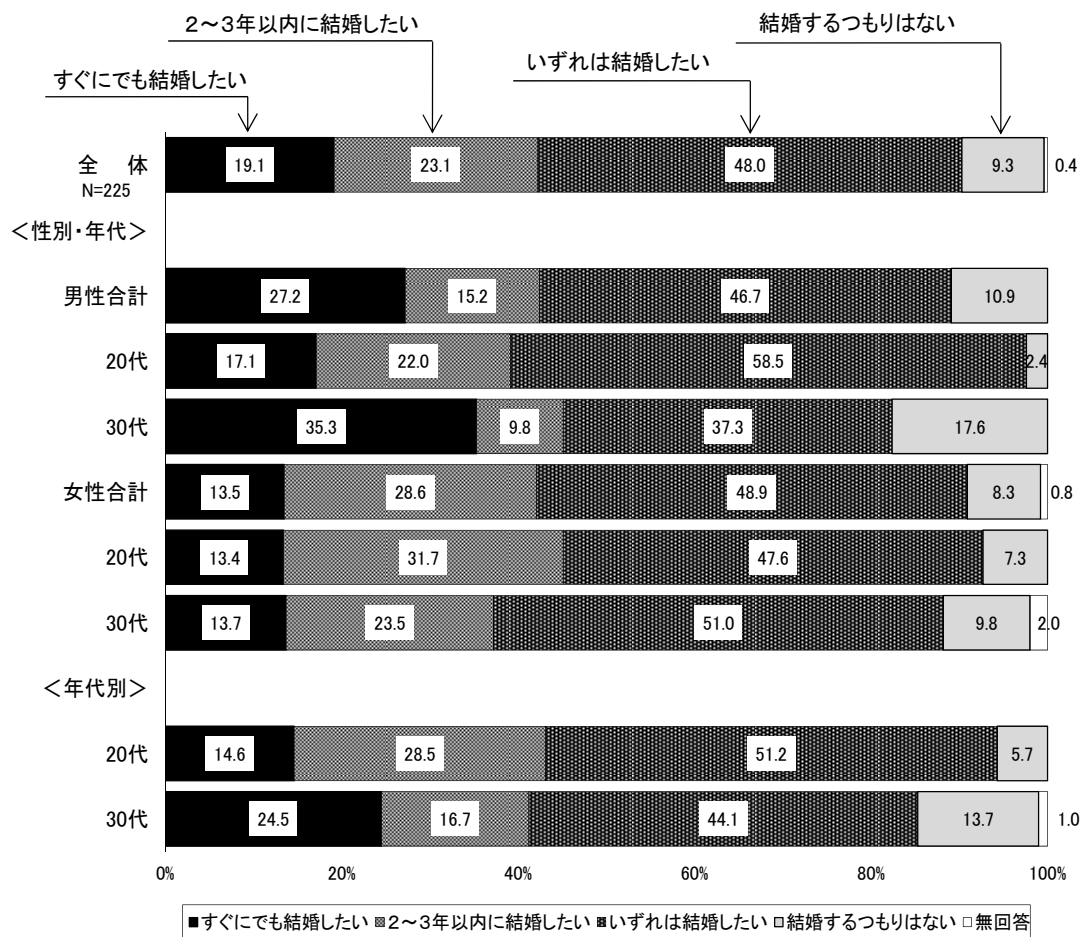
問1 結婚についてあなたの考えに近いものを1つ選んでください。



全体では、結婚についての考えは、「結婚はしたほうがよい」と答えた人の割合が62.7%と最も高く、次いで「結婚はしなくても一緒に生活するパートナーはいたほうがよい」が13.0%となっている。

「結婚は必ずすべきだ」や「結婚はしたほうがよい」と結婚に対し肯定的な回答を合わせると、男性の80.8%に対し女性は62.2%と18.6ポイント下回っている。

問2 「未婚」の方にお聞きします。あなたは将来、結婚したいと思いますか。
あてはまるものを1つ選んでください。



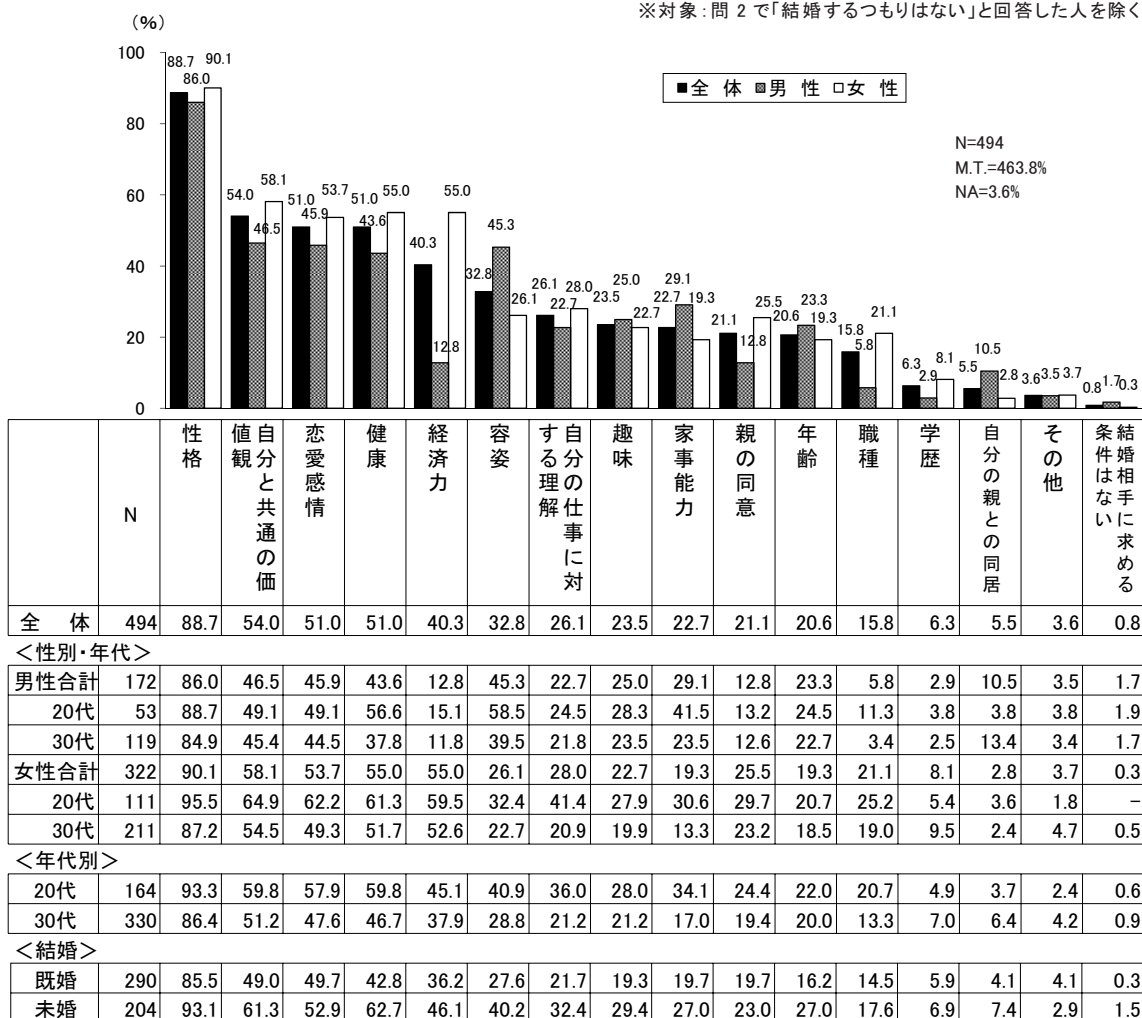
全体では、「いずれは結婚したい」と答えた人の割合が48.0%と最も高い。

「すぐにでも結婚したい」+「2~3年以内に結婚したい」+「いずれは結婚したい」の合計は90.2%。性別・年代で見ると、男性20代が97.6%と最も高く、次いで女性20代が92.7%となっている。最も低いのは男性30代で82.4%となっている。

2 結婚の条件

問3 結婚相手に求める条件（結婚相手に求めた条件）は何ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。

※対象：問2で「結婚するつもりはない」と回答した人を除く

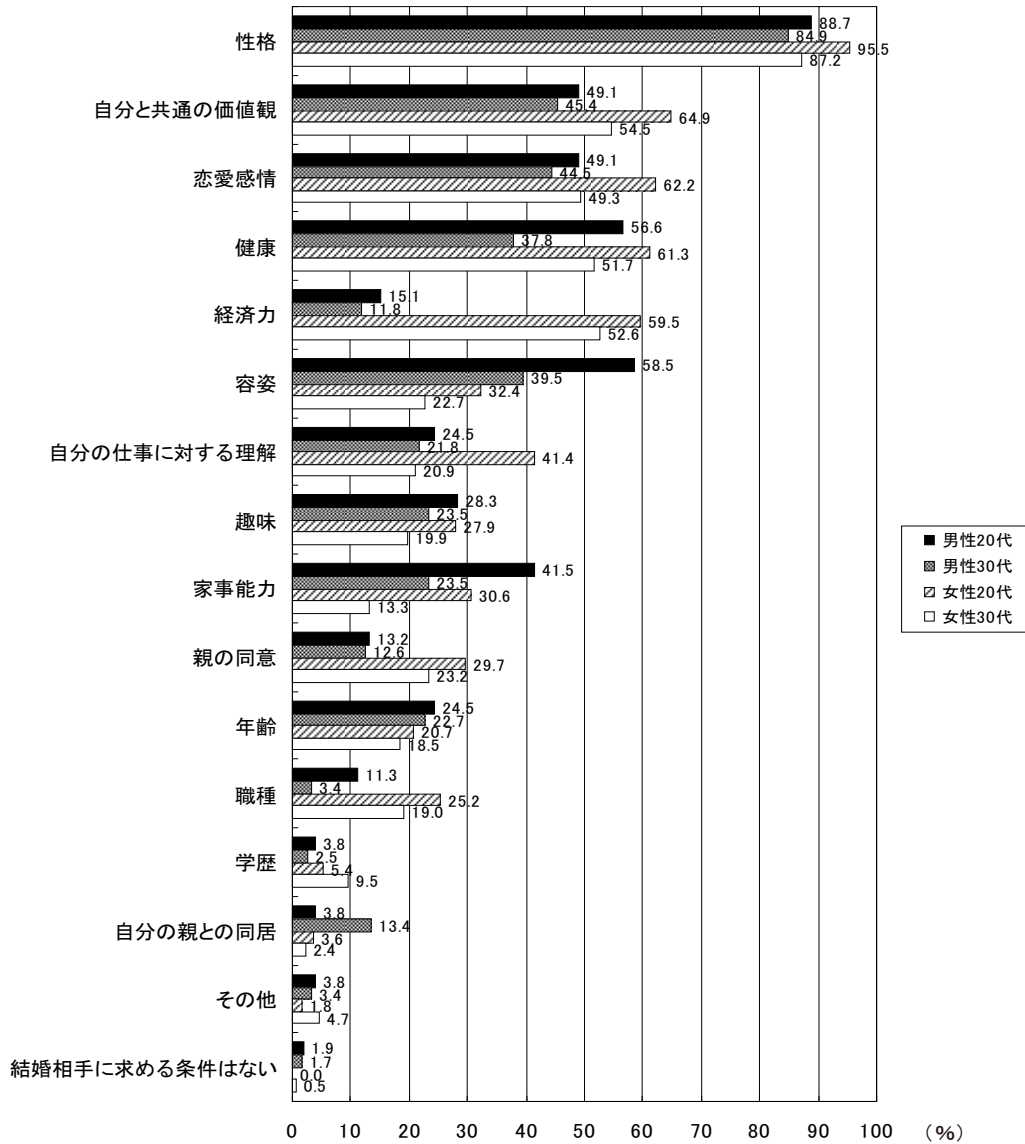


全体では、88.7%の人が「性格」を選択。次いで「自分と共通の価値観」が54.0%、「恋愛感情」「健康」が同率で51.0%の順となっている。

性別で見ると、男女間で差異が大きいのは、「経済力」で男性12.8%に対し女性55.0%と女性が42.2ポイント上回っている。「自分と共通の価値観」でも男性46.5%に対し女性58.1%と女性が11.6ポイント高い。

一方、男性が女性を大きく上回ったのは「容姿」で、男性45.3%に対し女性26.1%と、19.2ポイント上回っている。

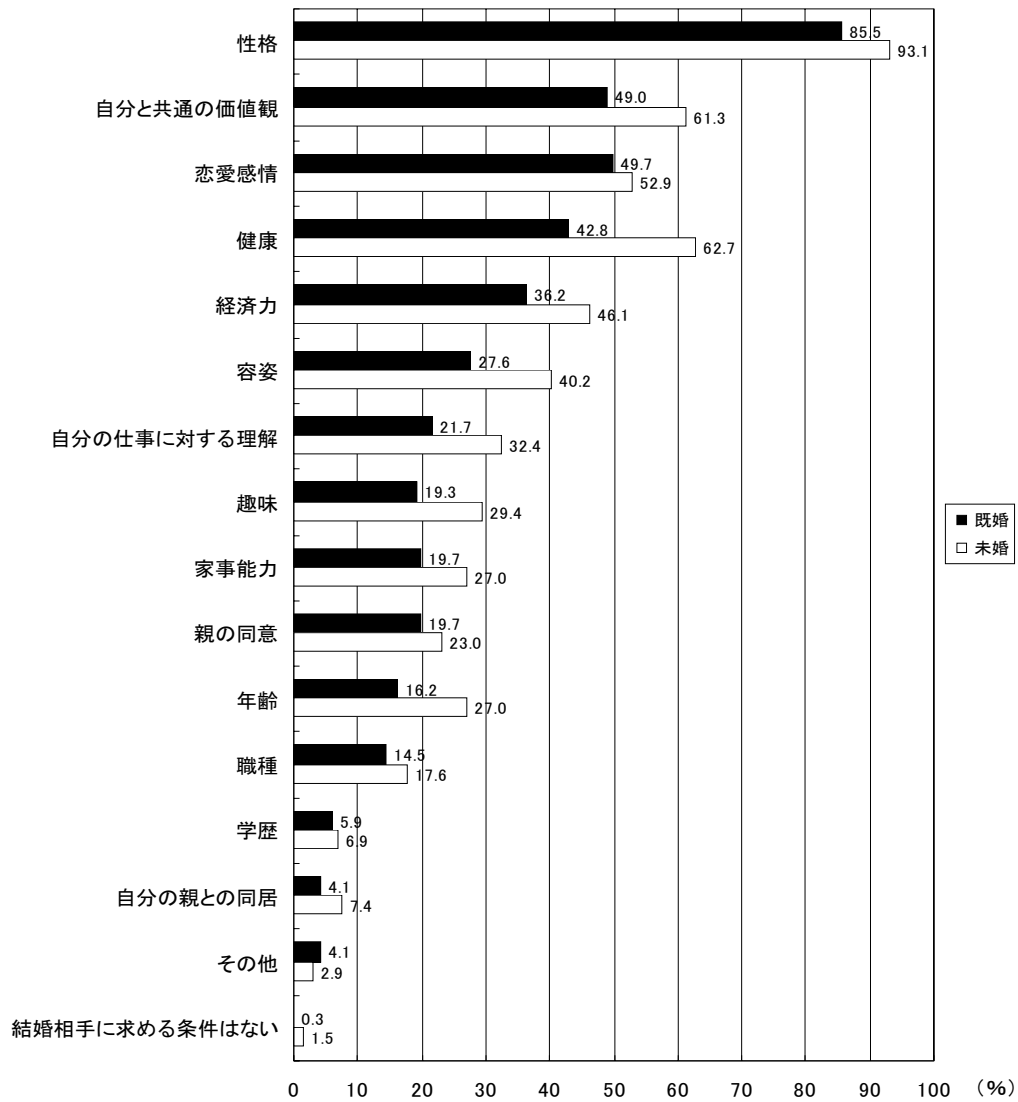
問3 結婚相手に求める条件<性別・年代>



性別・年代でみると、結婚相手に求める条件は、20代、30代女性で「経済力」と回答した割合が男性を大きく上回っている。また「親の同意」「職種」でも、20代、30代女性の割合が男性を大きく上回っている。

反面、男性が女性を大きく上回ったのは「容姿」で、女性20代32.4%、女性30代22.7%に対し男性20代58.5%、男性30代39.5%となっている。男性20代、女性20代では「家事能力」41.5%、30.6%、男性30代では「自分の親との同居」13.4%、女性20代では「自分の仕事に対する理解」41.4%、「職種」25.2%と高い割合となっている。

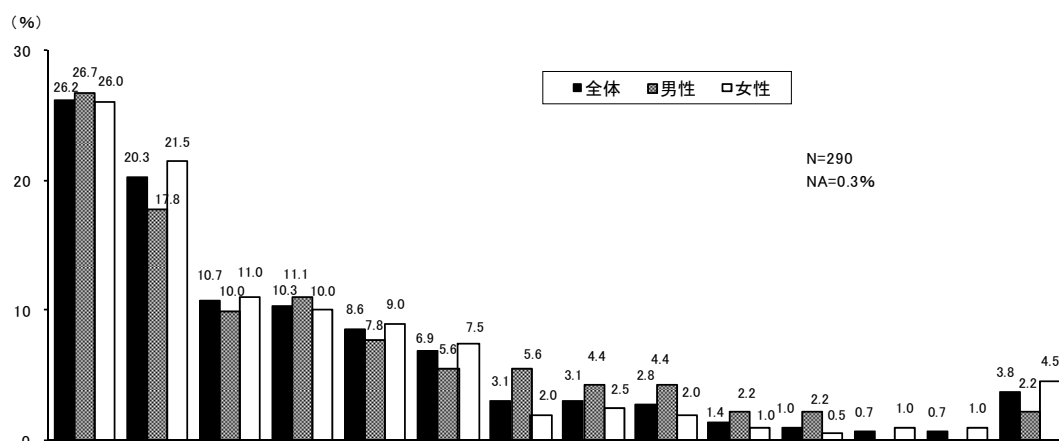
問3 結婚相手に求める条件<既婚・未婚>



既婚・未婚でみると、結婚相手に求める条件は、ほとんどの項目で既婚者より未婚者の割合が高く、「性格」93.1%、「健康」62.7%、「自分と共通の価値観」61.3%、「恋愛感情」52.9%が5割を超え、さらに「経済力」「容姿」「自分の仕事に対する理解」「趣味」「家事能力」「年齢」などにおいても既婚者を上回る結果となっている。

3 出会いの環境

問4 「既婚」の方にお聞きします。現在の配偶者とどのようなきっかけで知り合いになりましたか。もっともあてはまるものを1つ選んでください。



	N	通じた紹介	友人や兄弟(姉妹)を	職場や仕事の関係	学校	合コンやパーティー	アルバイト先	の紹介(親せき・上司含む)	見合い(親せき・上司の紹介も含む)	学校以外のサークルやクラブ活動・習い事	インターネット	街なかや旅行先	幼なじみ・隣人関係	地域の活動	ボランティア活動	結婚相談所	その他
全体	290	26.2	20.3	10.7	10.3	8.6	6.9	3.1	3.1	2.8	1.4	1.0	0.7	0.7	0.7	3.8	

<性別・年代>

男性合計	90	26.7	17.8	10.0	11.1	7.8	5.6	5.6	4.4	4.4	2.2	2.2	-	-	-	2.2	
20代	13	30.8	7.7	23.1	23.1	-	-	-	-	-	-	-	7.7	-	-	-	7.7
30代	77	26.0	19.5	7.8	9.1	9.1	6.5	6.5	5.2	5.2	1.3	2.6	-	-	-	1.3	
女性合計	200	26.0	21.5	11.0	10.0	9.0	7.5	2.0	2.5	2.0	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	4.5	
20代	35	37.1	14.3	8.6	2.9	14.3	2.9	2.9	5.7	-	-	-	-	-	-	11.4	
30代	165	23.6	23.0	11.5	11.5	7.9	8.5	1.8	1.8	2.4	1.2	0.6	1.2	1.2	1.2	3.0	

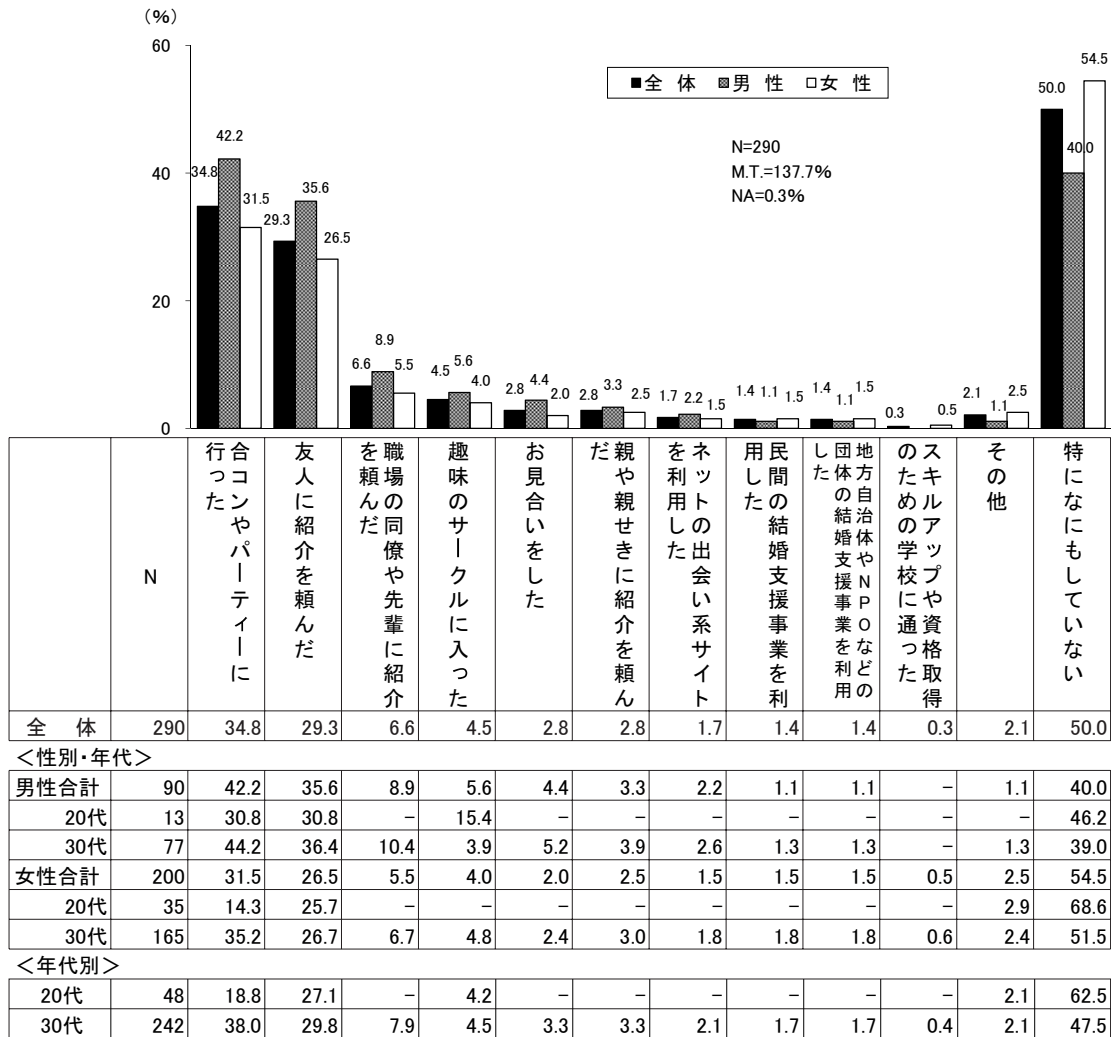
<年代別>

20代	48	35.4	12.5	12.5	8.3	10.4	2.1	2.1	4.2	-	2.1	-	-	-	-	10.4
30代	242	24.4	21.9	10.3	10.7	8.3	7.9	3.3	2.9	3.3	1.2	1.2	0.8	0.8	0.8	2.5

全体では、「友人や兄弟（姉妹）を通じた紹介」と答えた人の割合が 26.2%と最も高く、次いで「職場や仕事の関係」が 20.3%となっている。

男性が女性より高いのは「学校以外のサークルやクラブ活動・習い事」（3.6ポイント）、「街なかや旅行先」（2.4ポイント）など。女性が男性より高いのは「職場や仕事の関係」（3.7ポイント）、「見合い（親せき・上司の紹介も含む）」（1.9ポイント）などである。

問5 「既婚」の方にお聞きします。現在の配偶者と交際を始める前、交際相手に出会うことを期待してどのようなことを行っていましたか。あてはまるものをすべて選んでください。



全体では、「特に何もしていない」が50.0%、男性40.0%、女性54.5%となっている。

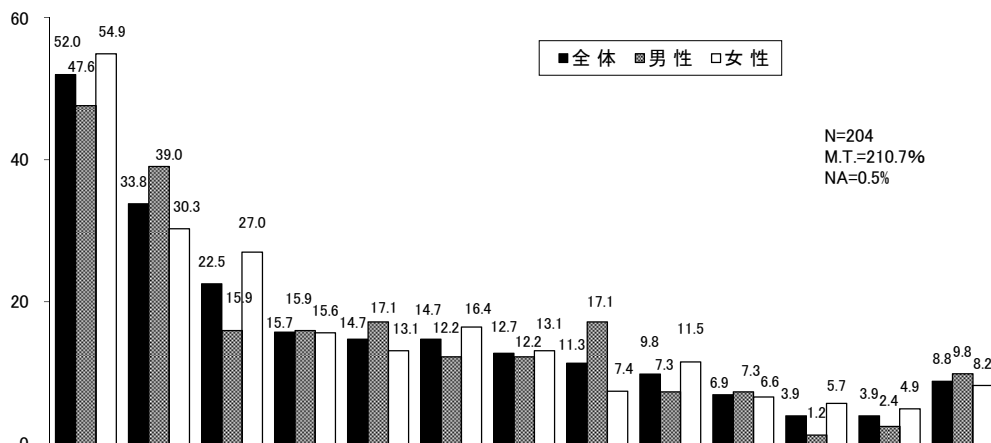
出会いのための活動では「合コンやパーティーに行った」34.8%、「友人に紹介を頼んだ」29.3%が高くなっている。

性別・年代でみると、「合コンやパーティーに行った」は男性20代で30.8%、男性30代で44.2%、女性30代でも35.2%と高い。「友人に紹介を頼んだ」は、男性20代で30.8%、男性30代で36.4%、女性20代で25.7%、女性30代で26.7%となっており、男性、女性ともに合コンやパーティー、友人の紹介が主な出会いの活動となっている。このほか、男性20代では「趣味のサークルに入った」15.4%、男性30代では「職場の同僚や先輩に紹介を頼んだ」が10.4%と多くなっている。

4 結婚していない理由

問6 「未婚」の方にお聞きします。現在結婚していない理由を3つまで選んでください。

(%) ※対象:問2で「結婚するつもりはない」と回答した人を除く



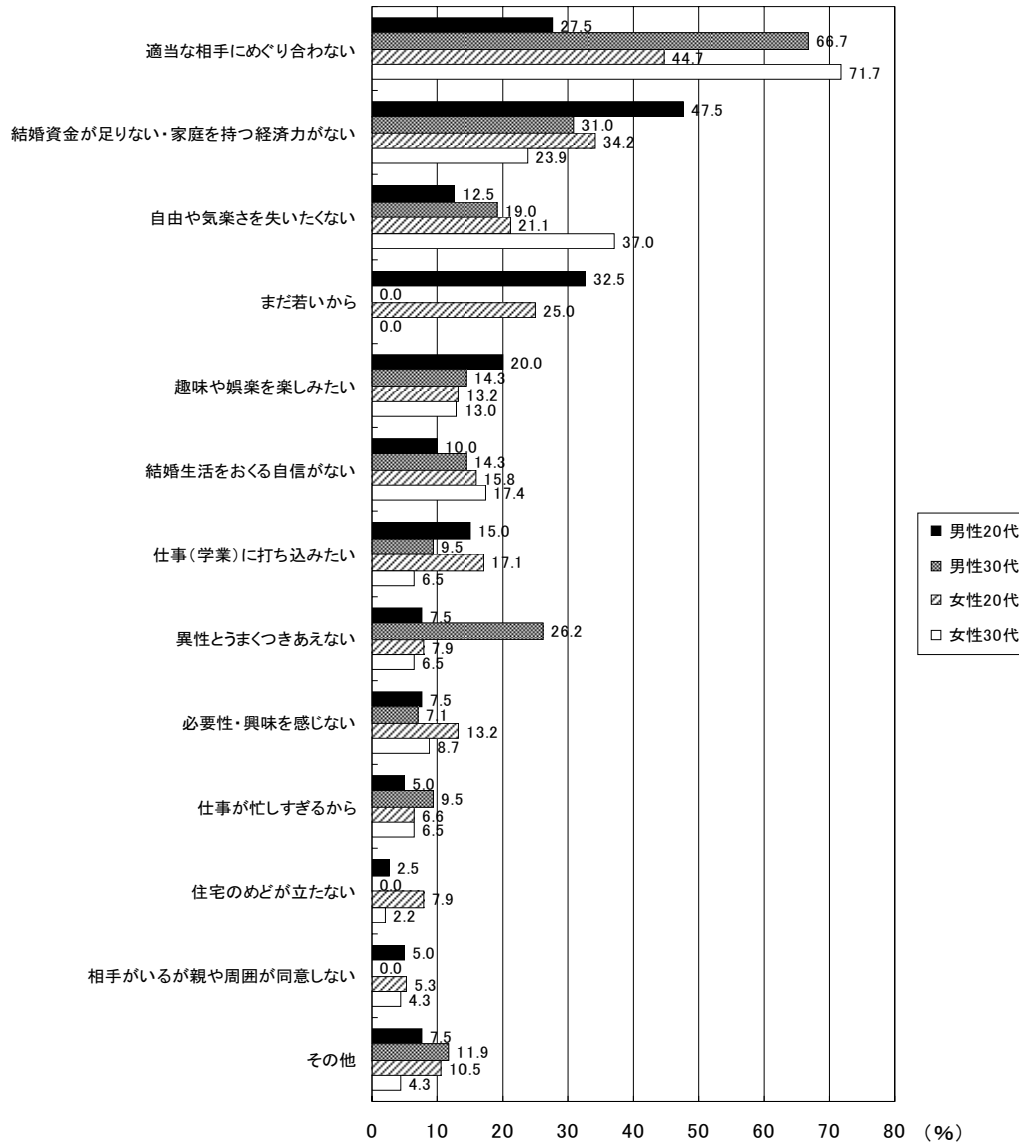
N=204
M.T.=210.7%
NA=0.5%

	N	適当な相手にめぐり合わない	結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない	自由や気楽さを失いたくない	まだ若いから	趣味や娯楽を楽しみたい	結婚生活をおくる自信がない	仕事(学業)に打ち込みたい	異性とうまくつきあえない	必要性・興味を感じない	仕事が忙しすぎるから	住宅のめどが立たない	い相手がいるが親や周囲が同意しない	その他	
全体	204	52.0	33.8	22.5	15.7	14.7	14.7	12.7	11.3	9.8	6.9	3.9	3.9	8.8	
<性別・年代>															
男性合計	82	47.6	39.0	15.9	15.9	17.1	12.2	12.2	17.1	7.3	7.3	1.2	2.4	9.8	
20代	40	27.5	47.5	12.5	32.5	20.0	10.0	15.0	7.5	7.5	5.0	2.5	5.0	7.5	
30代	42	66.7	31.0	19.0	-	14.3	14.3	9.5	26.2	7.1	9.5	-	-	11.9	
女性合計	122	54.9	30.3	27.0	15.6	13.1	16.4	13.1	7.4	11.5	6.6	5.7	4.9	8.2	
20代	76	44.7	34.2	21.1	25.0	13.2	15.8	17.1	7.9	13.2	6.6	7.9	5.3	10.5	
30代	46	71.7	23.9	37.0	-	13.0	17.4	6.5	6.5	8.7	6.5	2.2	4.3	4.3	
<年代別>															
20代	116	38.8	38.8	18.1	27.6	15.5	13.8	16.4	7.8	11.2	6.0	6.0	5.2	9.5	
30代	88	69.3	27.3	28.4	-	13.6	15.9	8.0	15.9	8.0	8.0	1.1	2.3	8.0	

全体では、「適当な相手にめぐり合わない」が52.0%と最も高く、次いで「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」33.8%、「自由や気楽さを失いたくない」22.5%となっている。

性別で見ると、男女間で差異が大きいのは、「自由や気楽さを失いたくない」男性15.9%に対し女性27.0%や、「異性とうまくつきあえない」が男性17.1%に対し女性7.4%となっている。

問6 結婚していない理由<性別・年代>



性別・年代でみると、結婚していない理由は、男性30代、女性30代では「適当な相手にめぐり合わない」がそれぞれ66.7%と71.7%と高くなっている。

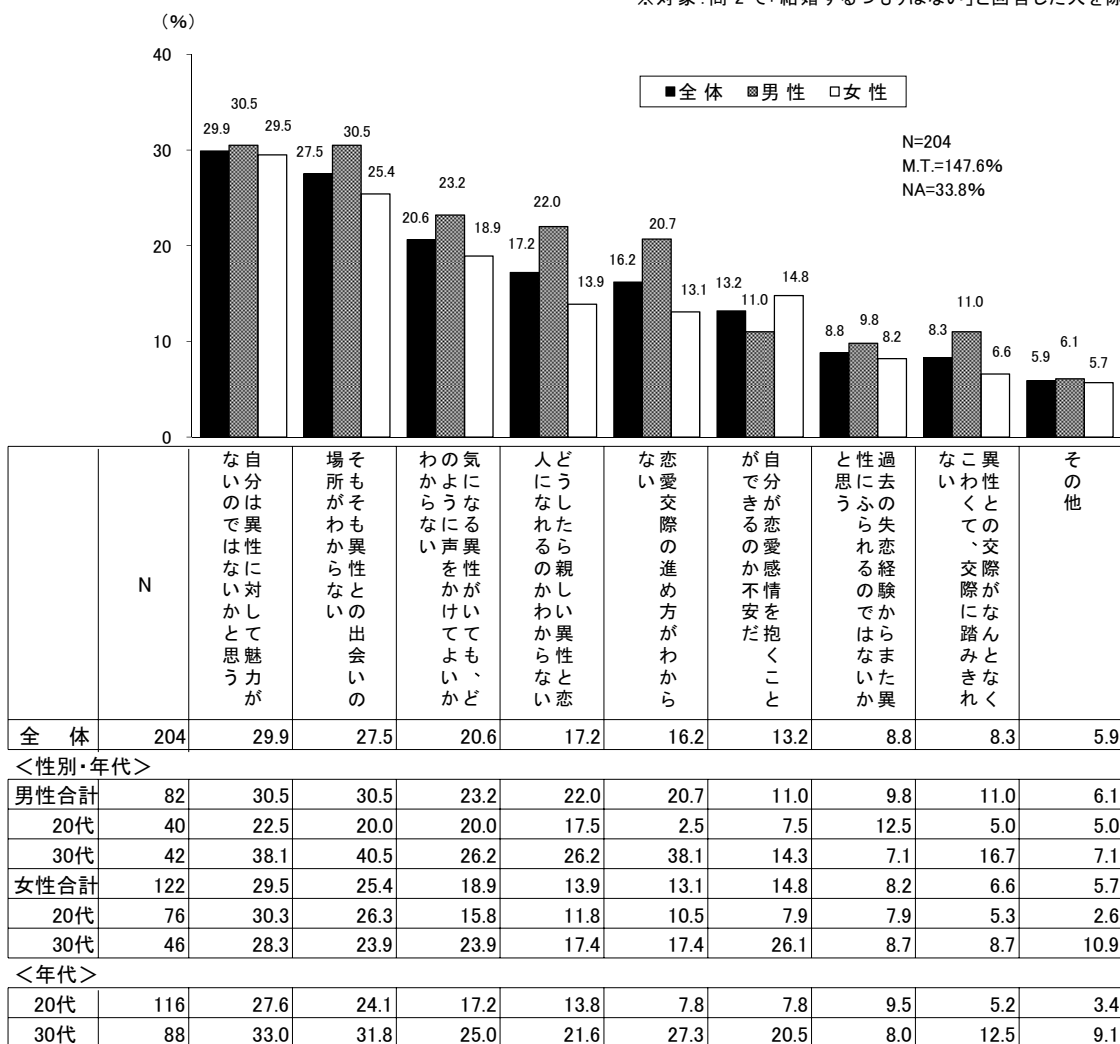
男性20代では「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」が47.5%、男性30代では「異性とうまくつきあえない」26.2%となっており、女性20代では「適当な相手にめぐり合わない」44.7%、「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」34.2%となっている。

女性30代では「自由や気楽さを失いたくない」が37.0%となっている。

5 異性交際の不安

問7 「未婚」の方にお聞きします。異性と交際する上での不安はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※対象：問2で「結婚するつもりはない」と回答した人を除く



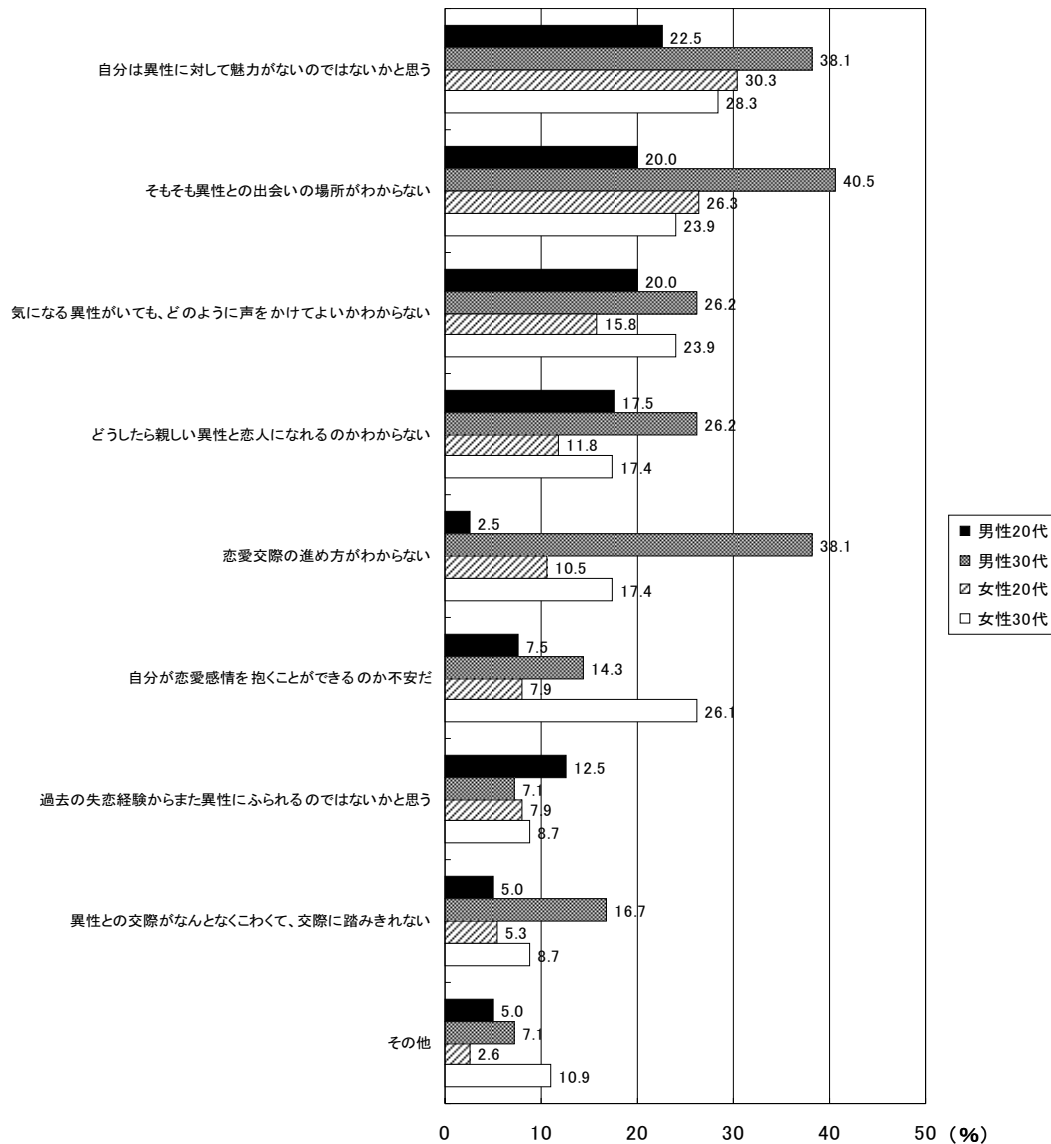
全体では、「自分には異性に対して魅力がないのではないかと思う」29.9%を筆頭に、「そもそも異性との出会いの場所がわからない」27.5%、「気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかかわからない」20.6%が上位となっている。

異性と交際する上で不安があるとした人の割合(%)は以下のとおり。

全体	男性	女性	20代	30代
66.2	72.0	62.3	57.8	77.3

性別で見ると、男女間で差異が大きいのは、「どうしたら親しい異性と恋人になれるのかわからない」男性22.0%に対し女性13.9%や「恋愛交際の進め方がわからない」が男性20.7%に対し女性13.1%となっている。

問7 異性交際の不安<性別・年代>

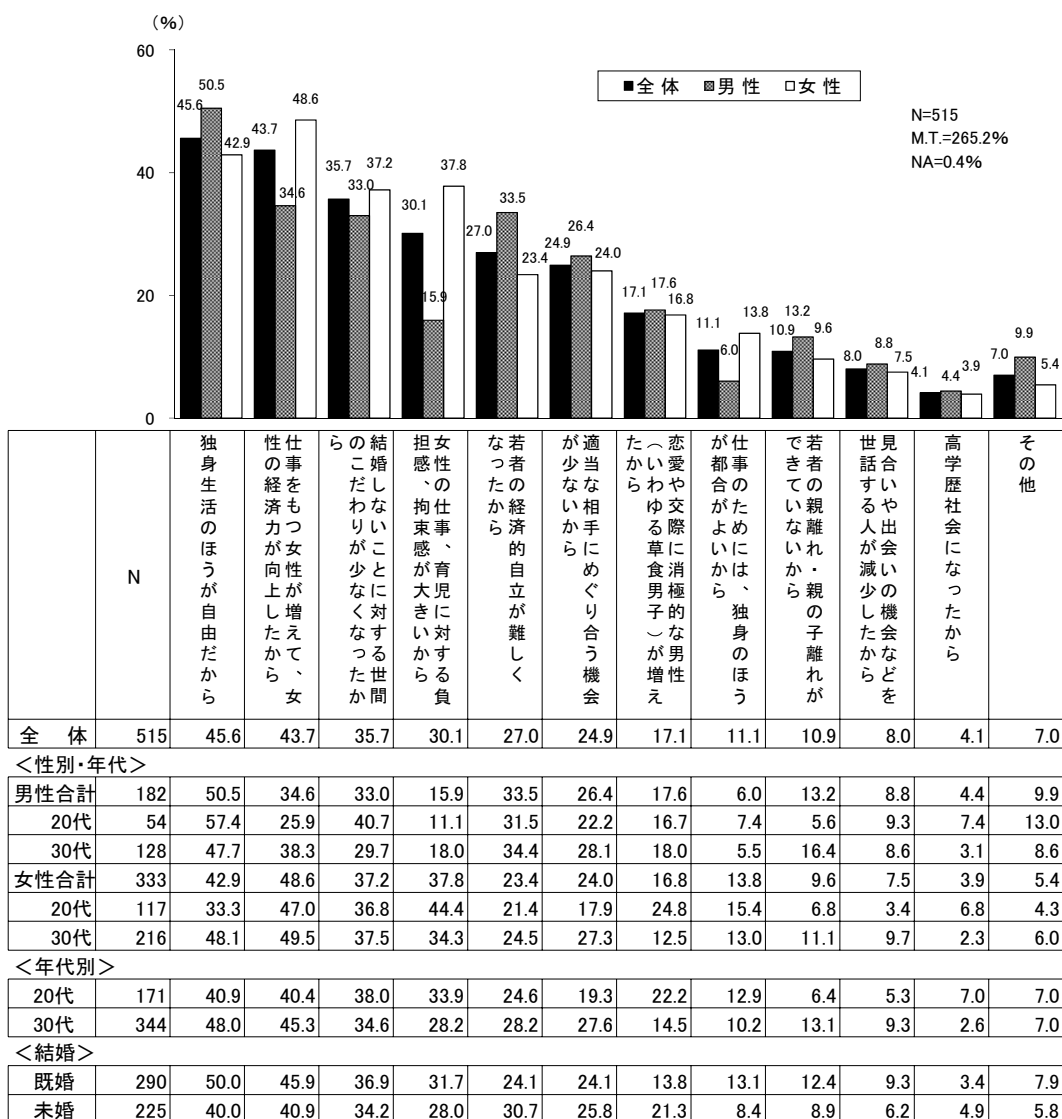


性別・年代で見ると、異性交際の不安は、男性30代では「そもそも異性との出会いの場所がわからない」40.5%、「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」「恋愛交際の進め方がわからない」がそれぞれ38.1%となっている。このほか「気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかわからない」「どうしたら親しい異性と恋人になれるのかわからない」も26.2%となっており、男性30代は異性との交際にさまざまな不安を感じている。

「自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う」は、男性20代22.5%、女性20代30.3%、女性30代28.3%となっており、自分自身の魅力に不安を感じている人が少なくない。女性30代では「自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ」が26.1%となっている。

6 未婚化・晩婚化の意識

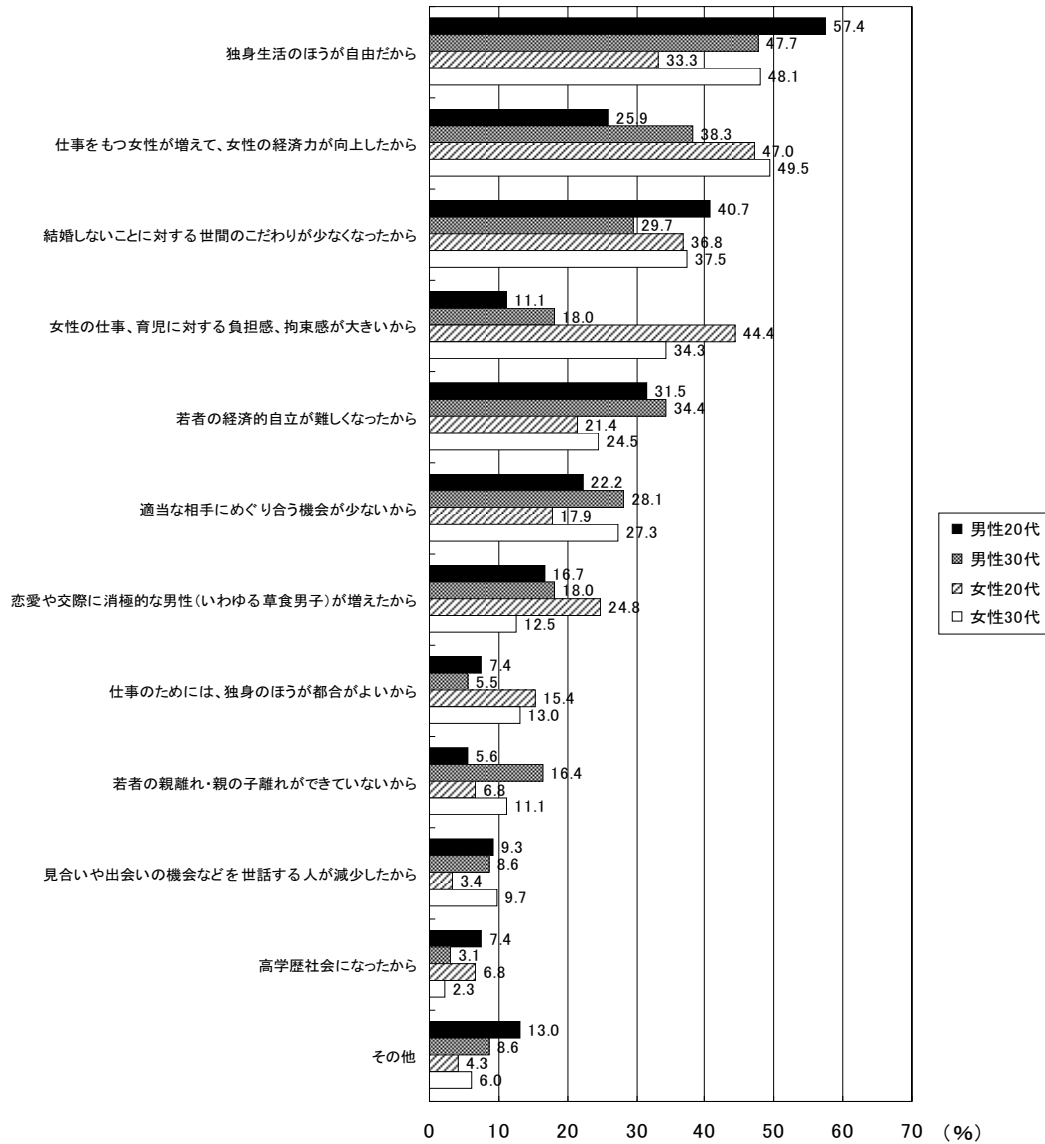
問8 未婚化、晩婚化の理由についてどう思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。



全体では、「独身生活のほう自由だから」が45.6%と最も高く、次いで「仕事をもち女性が向上して、女性の経済力が向上したから」が43.7%、「結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなったから」が35.7%となっている。

性別で見ると、男女間で差異が大きいのは、「女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから」男性15.9%に対し女性37.8%や「仕事をもち女性が向上して、女性の経済力が向上したから」男性34.6%に対し女性48.6%、「若者の経済的自立が難しくなったから」が男性33.5%に対し女性23.4%となっている。

問8 未婚化・晩婚化の理由<性別・年代>



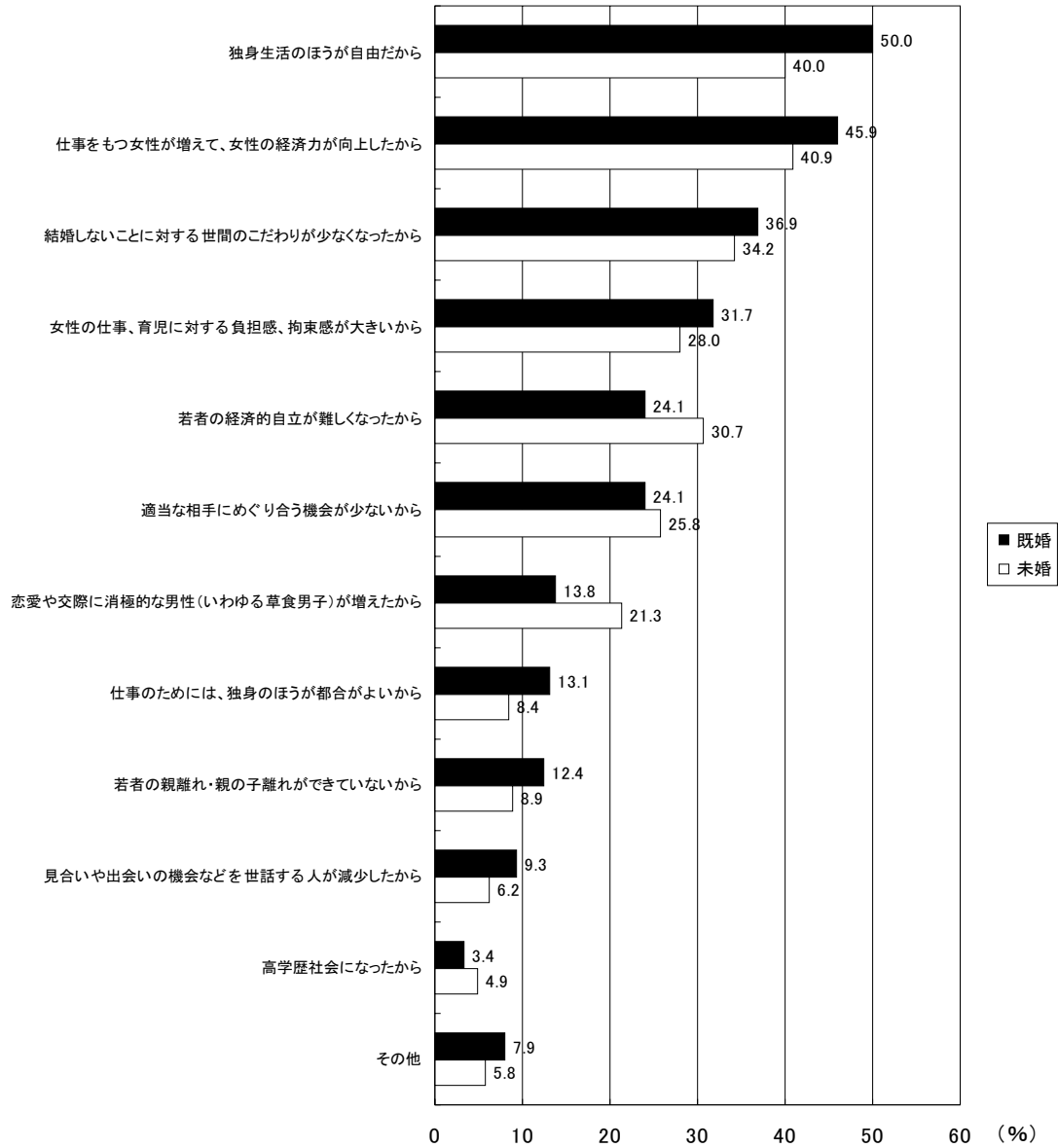
性別・年代でみると、未婚化・晩婚化の理由は「独身生活のほうが自由だから」が男性20代57.4%、男性30代47.7%、女性30代48.1%と高くなっている。

男性では「若者の経済的自立が難しくなったから」の回答が多く、男性20代31.5%、男性30代34.4%となっている。

「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上したから」(女性20代47.0%、女性30代49.5%)、「女性の仕事、育児に対する負担感・拘束感が大きいから」(女性20代44.4%、女性30代34.3%)については、回答した女性が多くなっている。

「結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなったから」は、男性20代40.7%、女性20代36.8%、女性30代37.5%となっている。

問8 未婚化・晩婚化の理由<既婚・未婚>

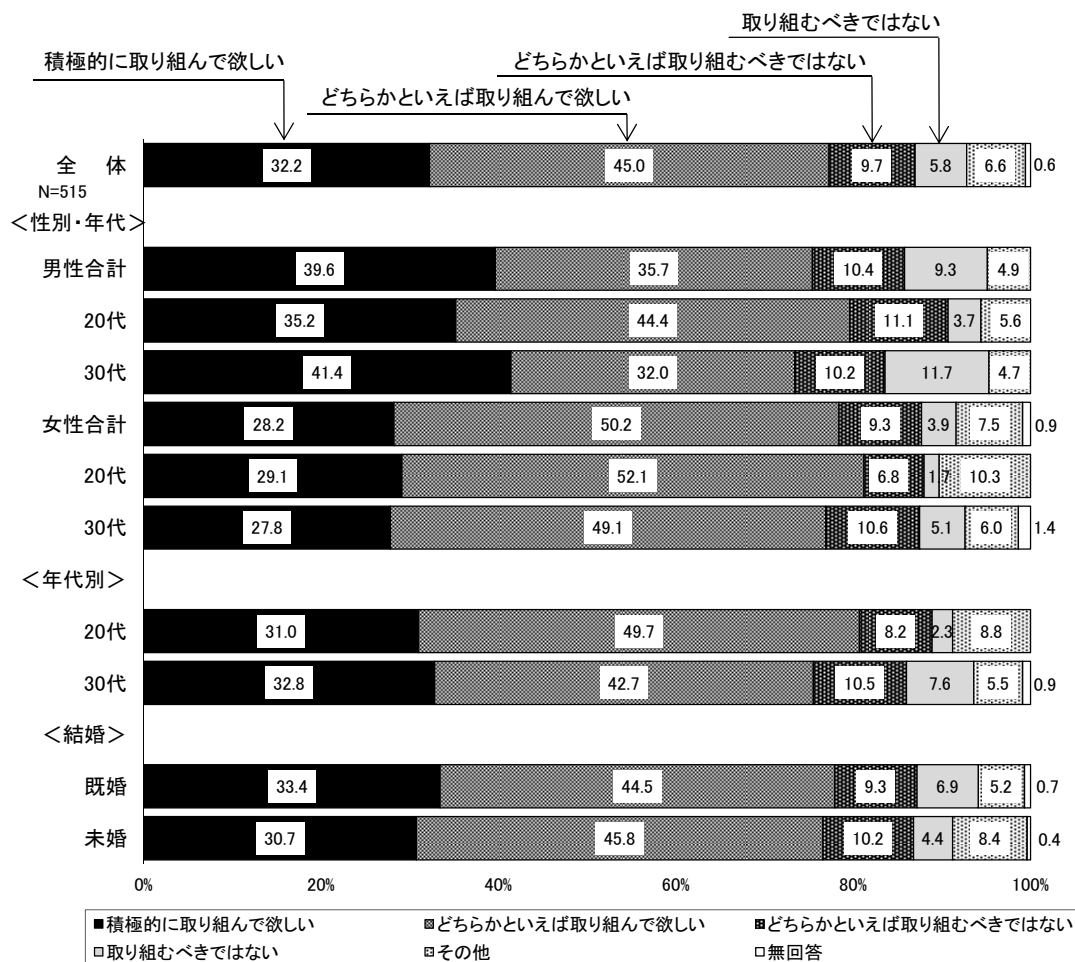


既婚・未婚でみると、未婚化・晩婚化の理由は「独身生活のほうが自由だから」既婚 50.0%、未婚 40.0%、「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上したから」既婚 45.9%、未婚 40.9%となっている。

既婚・未婚で差異が大きいのは、「恋愛や交際に消極的な男性(いわゆる草食男子)が増えたから」が既婚 13.8%に対し未婚 21.3%となっている。

7 結婚支援への考え・要望

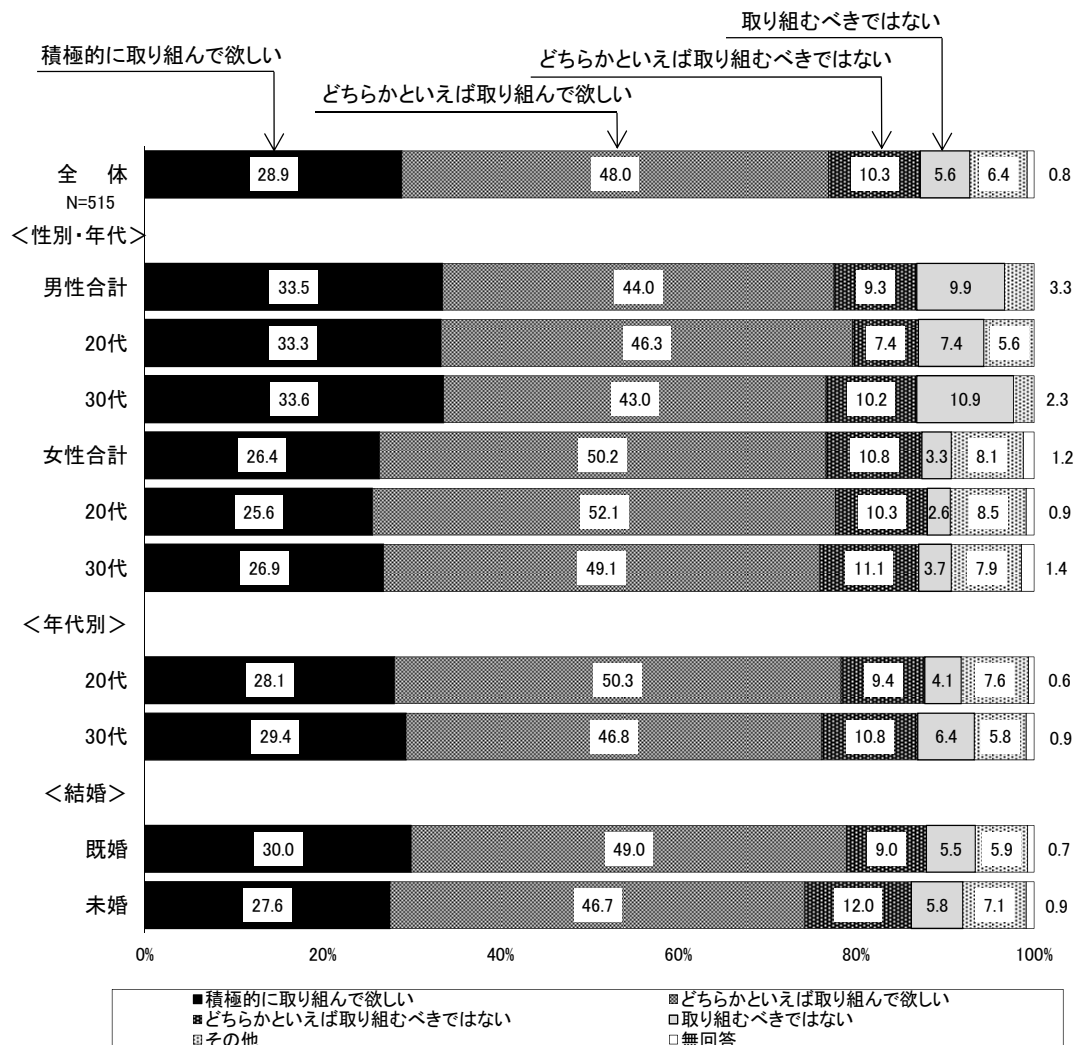
問9 結婚を支援する施策(事業)を県や市町村が取り組むことについてどのように思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。



全体では、県や市町村の結婚支援の取り組みについて「積極的に取り組んで欲しい」32.2%と「どちらかといえば取り組んで欲しい」45.0%の合計は77.2%となっている。また、男性では「積極的に取り組んで欲しい」が39.6%と高くなっている。

反対に、取り組むべきではない(「どちらかといえば取り組むべきではない」9.7%+「取り組むべきではない」5.8%)は15.5%となっている。

問10 結婚を支援する施策(事業)をNPOなどの民間団体が取り組むことについてどのように思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

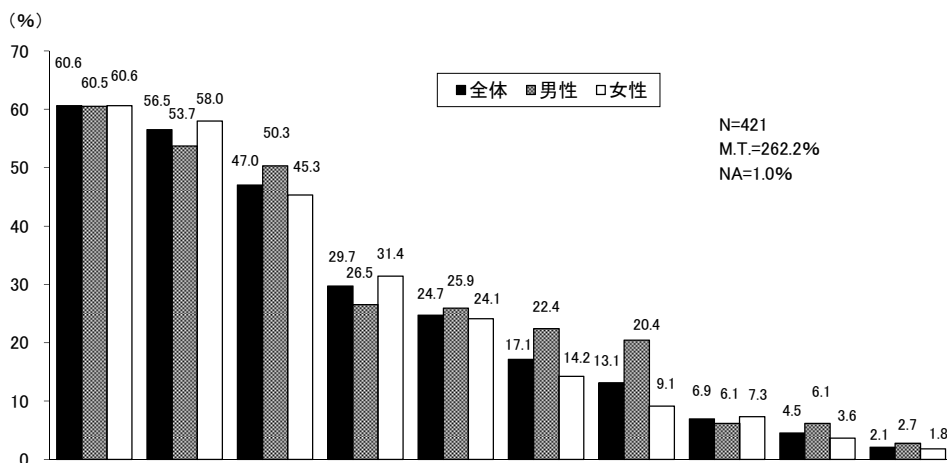


全体では、NPOなどの民間団体の結婚支援の取り組みについて「積極的に取り組んで欲しい」28.9%と「どちらかといえば取り組んで欲しい」48.0%の合計は76.9%となっている。

反対に、取り組むべきではない（「どちらかといえば取り組むべきではない」10.3%＋「取り組むべきではない」5.6%）は15.9%となっている。

問 1 1 結婚支援施策で、特にどのような取り組みが必要だとお考えですか。
 あてはまるものをすべて選んでください。

※対象：問 9 または問 10 で「積極的に取り組んで欲しい」または「どちらかといえば取り組んで欲しい」と回答した人



	N	出会いの機会の創出(パーティー、レクリエーションなど)	雇用や収入の安定化のための施策	結婚費用や結婚後の住まい／暮らしへの支援	社会全体で若者の自立や結婚を支援する意識づくり	出会いや結婚に必要な情報の提供	開催(各地域での個別相談や相談会の設置)	出会いの機会を創出する支援員等の設置	結婚講座(交際術、ファッション、マナーなど)	親や地域住民を対象とする若い世代の結婚に関する講習会	その他
全 体	421	60.6	56.5	47.0	29.7	24.7	17.1	13.1	6.9	4.5	2.1

<性別・年代>

男性合計	147	60.5	53.7	50.3	26.5	25.9	22.4	20.4	6.1	6.1	2.7
20代	45	57.8	64.4	62.2	26.7	22.2	8.9	6.7	2.2	4.4	-
30代	102	61.8	49.0	45.1	26.5	27.5	28.4	26.5	7.8	6.9	3.9
女性合計	274	60.6	58.0	45.3	31.4	24.1	14.2	9.1	7.3	3.6	1.8
20代	98	55.1	66.3	57.1	31.6	29.6	13.3	6.1	11.2	5.1	-
30代	176	63.6	53.4	38.6	31.3	21.0	14.8	10.8	5.1	2.8	2.8

<年代別>

20代	143	55.9	65.7	58.7	30.1	27.3	11.9	6.3	8.4	4.9	-
30代	278	62.9	51.8	41.0	29.5	23.4	19.8	16.5	6.1	4.3	3.2

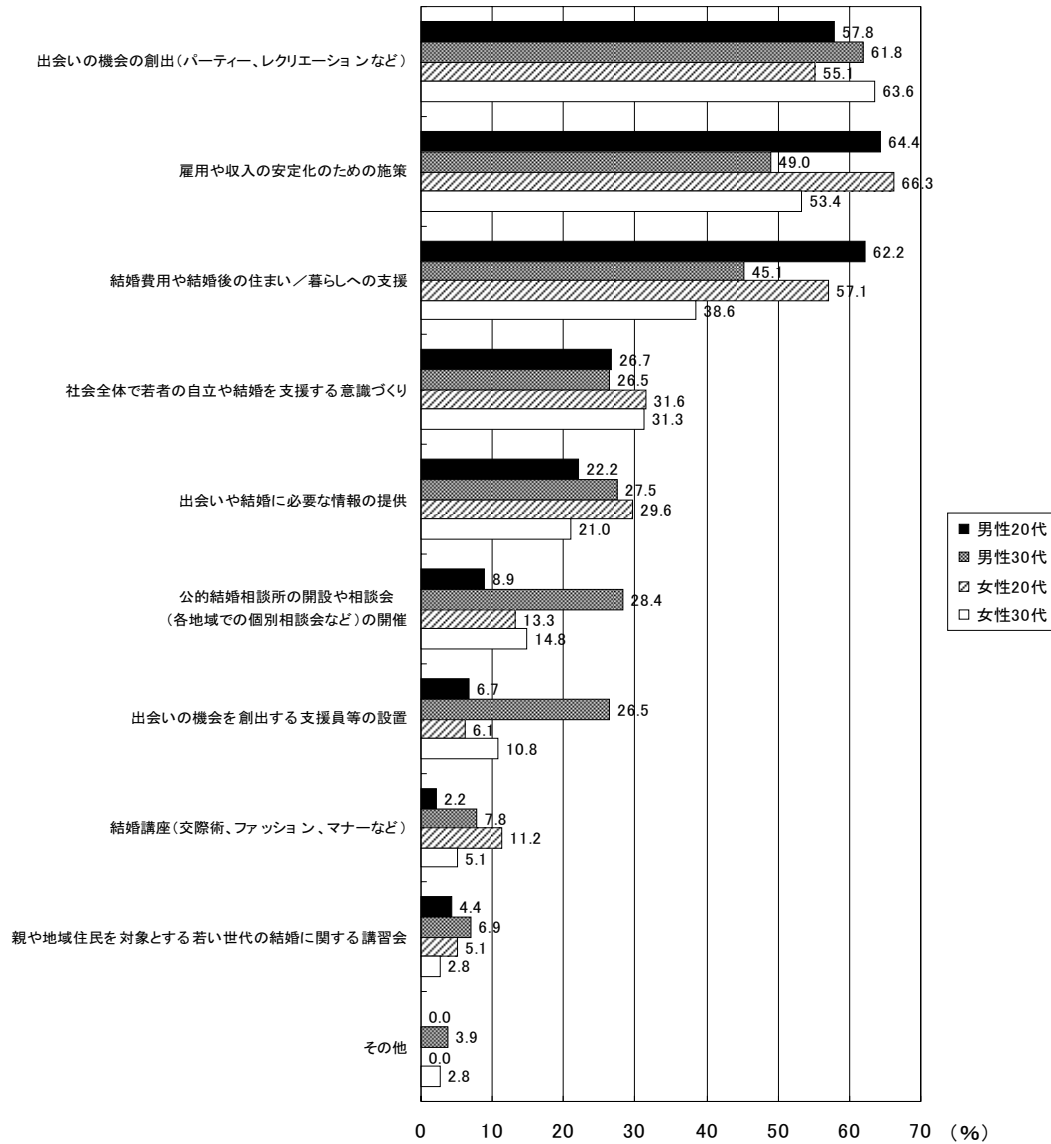
<結婚>

既婚	240	65.0	55.0	39.2	32.1	22.5	14.6	12.9	4.2	4.2	3.8
未婚	181	54.7	58.6	57.5	26.5	27.6	20.4	13.3	10.5	5.0	-

全体では、「出会いの機会の創出(パーティー、レクリエーションなど)」60.6%、「雇用や収入の安定化のための施策」56.5%、「結婚費用や結婚後の住まい／暮らしへの支援」47.0%の順となっている。

性別で見ると、男女間で差異が大きいのは、「出会いの機会を創出する支援員等の設置」男性 20.4%に対し女性 9.1%となっている。

問11 必要な結婚支援施策＜性別・年代＞

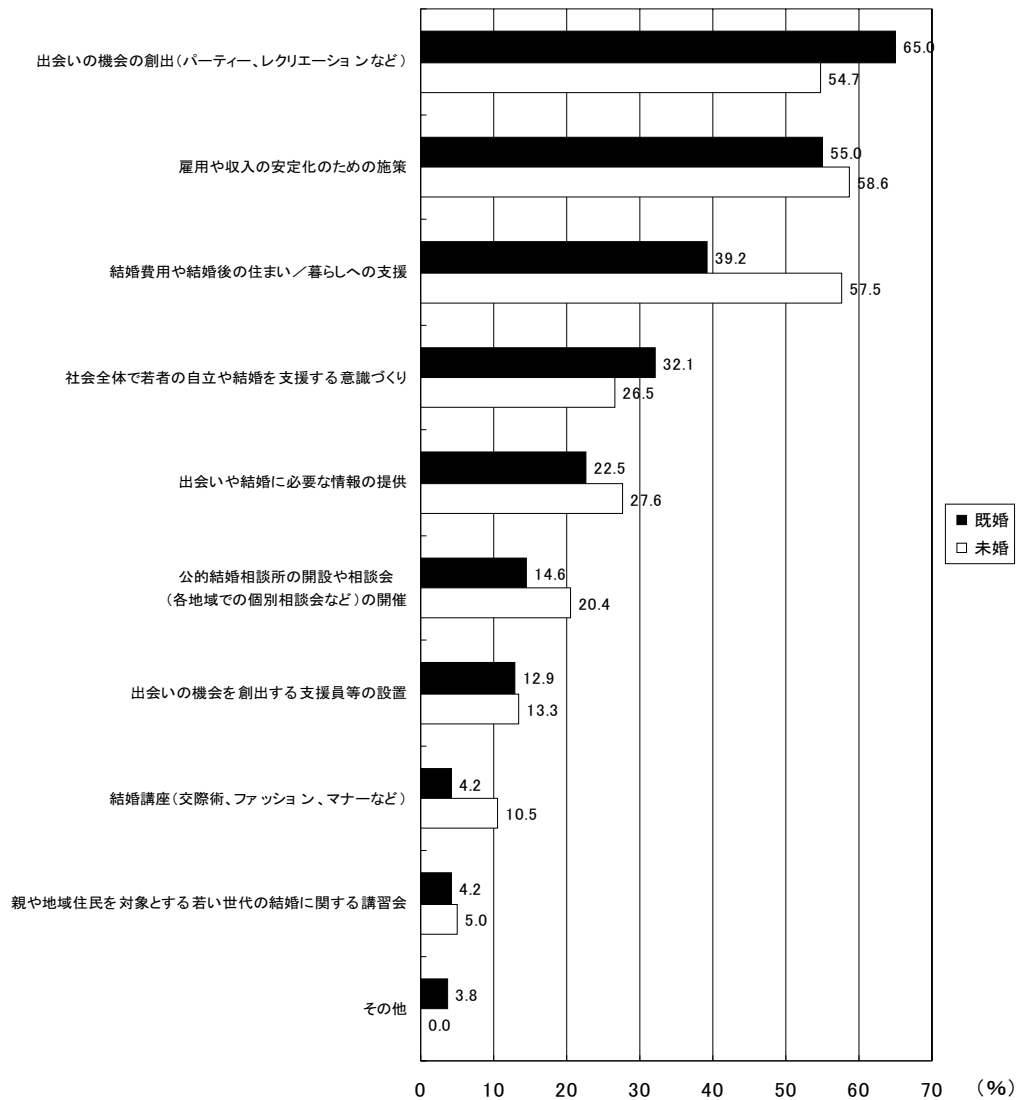


性別・年代でみると、必要な結婚支援施策は、男性20代、女性20代では「雇用や収入の安定化のための施策」「結婚費用や結婚後の住まい／暮らしへの支援」「出合いの機会の創出」が上位3項目。

男性30代、女性30代では「出合いの機会の創出」「雇用や収入の安定化のための施策」「結婚費用や結婚後の住まい／暮らしへの支援」の順となっており、20代では経済的支援、30代では出合いの機会の創出の支援を望んでいる。

男性30代において「公的結婚相談所の開設や相談会」28.4%、「出合いや結婚に必要な情報の提供」27.5%、「出合いの機会を創出する支援員等の設置」26.5%の支援を望む回答が多くなっている。

問11 必要な結婚支援施策<既婚・未婚>

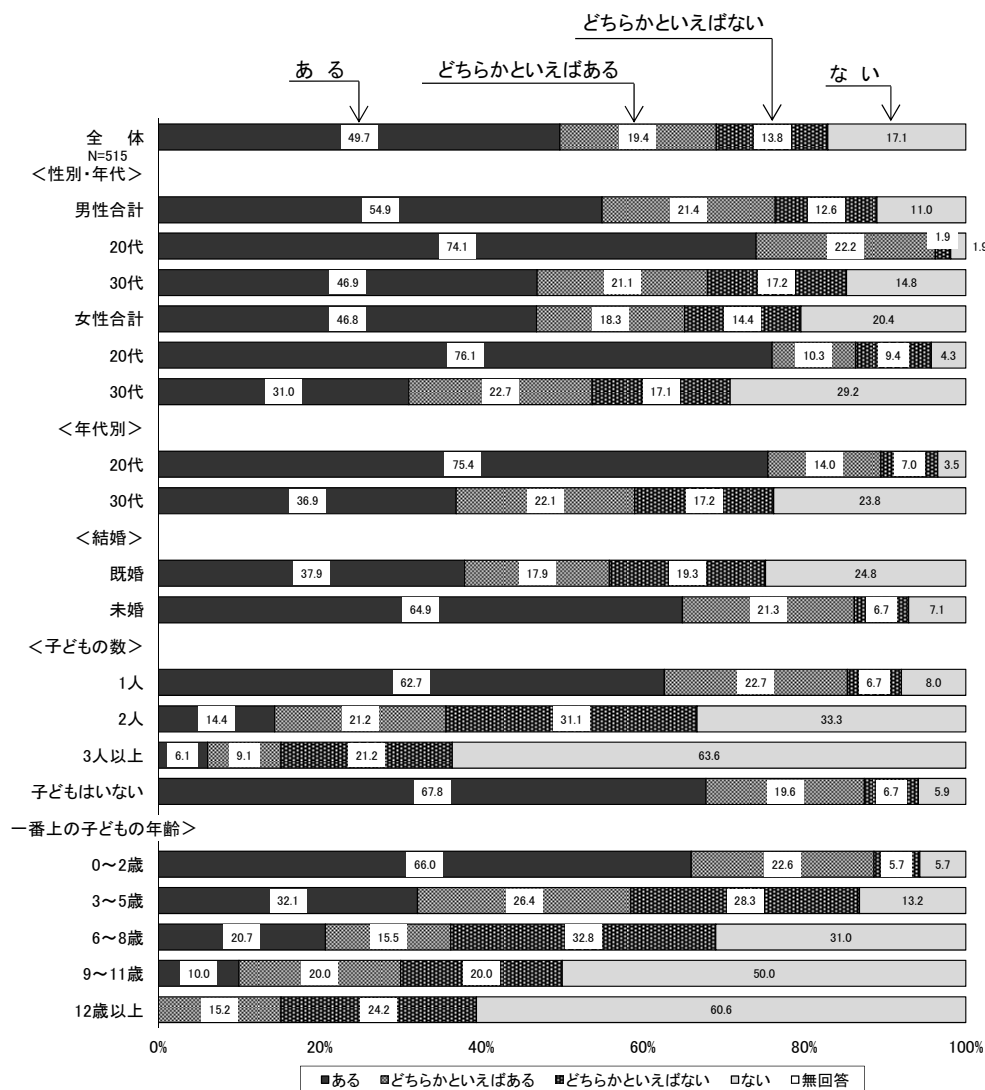


既婚・未婚でみると、必要な結婚支援施策は、既婚、未婚ともに「出会いの機会の創出(パーティー、レクリエーションなど)」既婚 65.0%、未婚 54.7%や「雇用や収入の安定化のための施策」既婚 55.0%、未婚 58.6%となっている。

既婚・未婚で差異が大きいのは、「結婚費用や結婚後の住まい／暮らしへの支援」既婚 39.2%に対し未婚 57.5%となっている。

8 出産の意思

問 1 2 あなたはこれから「子どもが欲しい」「もう 1 人子どもが欲しい」という気持ちはありますか。あてはまるものを 1 つ選んでください。



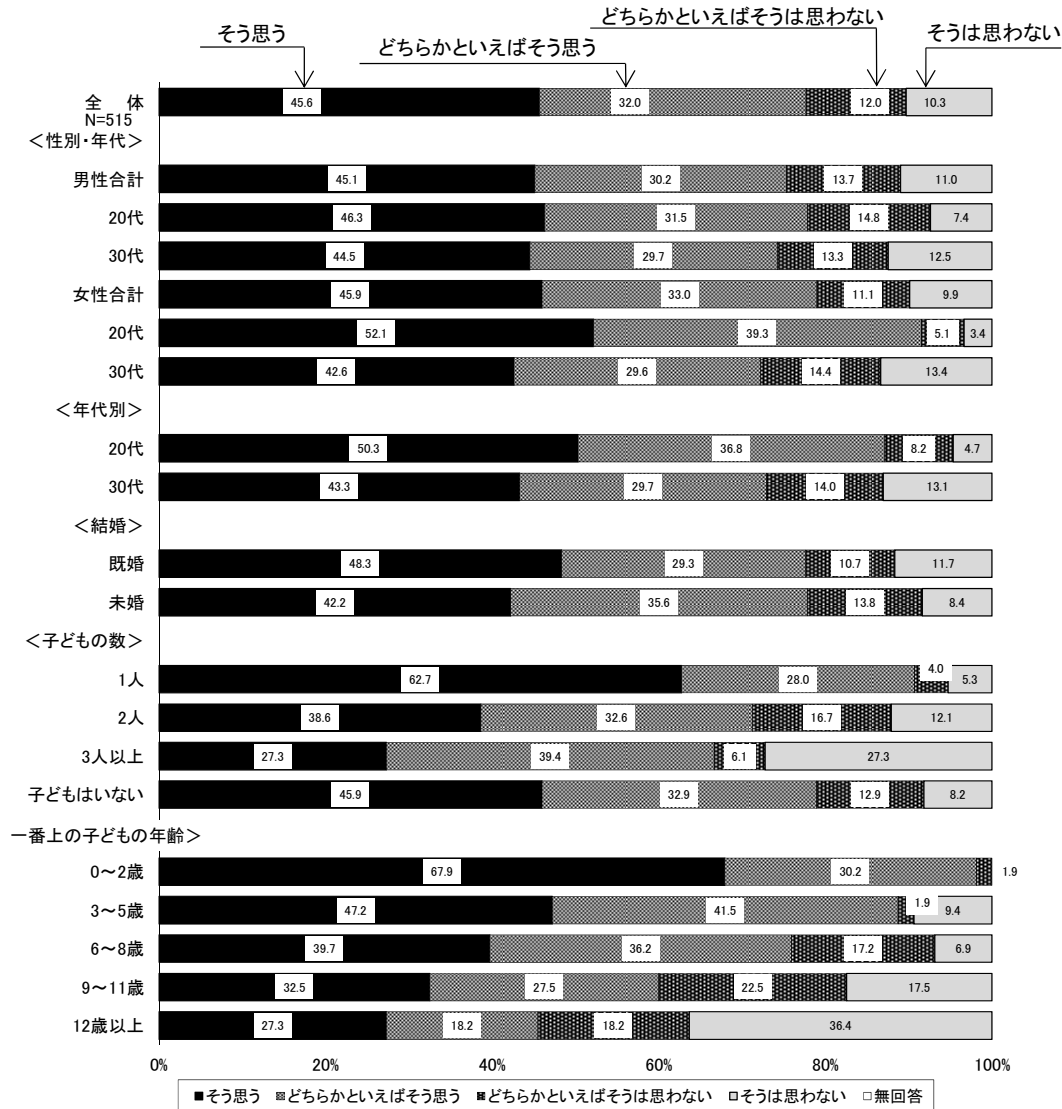
全体では、子どもが欲しい気持ちが「ある」「どちらかといえばある」と肯定的に答えた人の割合は 69.1%となっている。

肯定的に答えた人の割合を性別・年代で見ると、男性 20 代では 96.3%、女性 20 代では 86.4%となっており、既婚・未婚で見ると、既婚 55.8%、未婚 86.2%となっている。

また、子どもの数で見ると、「1 人」では 85.4%が肯定的だが、「2 人」では 35.6%、「3 人以上」では 15.2%と子どもの数が増えると割合が低くなっている。子どもの年齢で見ると、一番上の子どもの年齢が「0~2 歳」では 88.6%と高いが、年齢が高くなるに連れてその割合が低下している。

9 少子化対策への考え・要望

問 1 3 国や自治体が経済的支援や保育サービスなど現在の少子化対策を十分に拡充していけば「子どもが欲しい」「もう 1 人欲しい」という気持ちになりますか。あなたの考えに近いものを 1 つ選んでください。

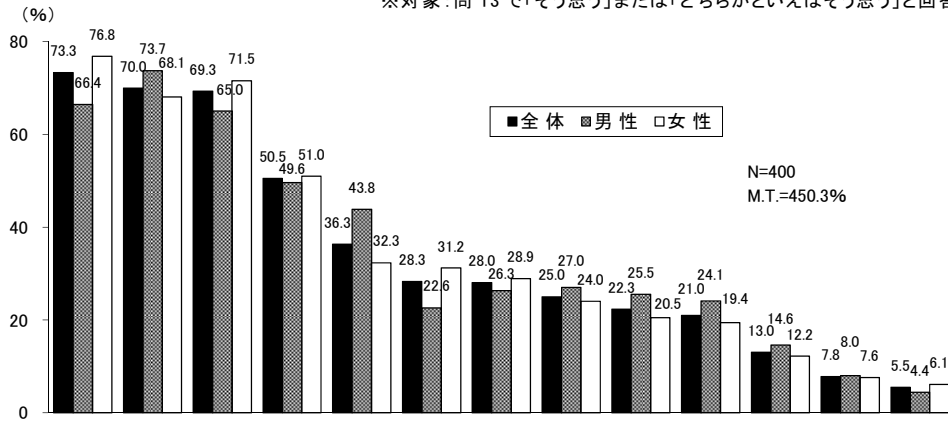


全体では、少子化対策が拡充していくと子どもが欲しいと思う気持ちになるかについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に答えた人の割合は77.6%となっている。

肯定的に答えた人の割合を子どもの数で見ると、「1人」「子どもはいない」では90.7%、78.8%となっており、子どもの年齢で見ると、一番上の子どもの年齢が低いほど肯定的な割合は高く、「0~2歳」では98.1%と非常に高くなっている。

問14 どのような政策を拡充していけば「子どもが欲しい」「もう一人欲しい」という気持ちになるとお思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※対象：問13で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した人



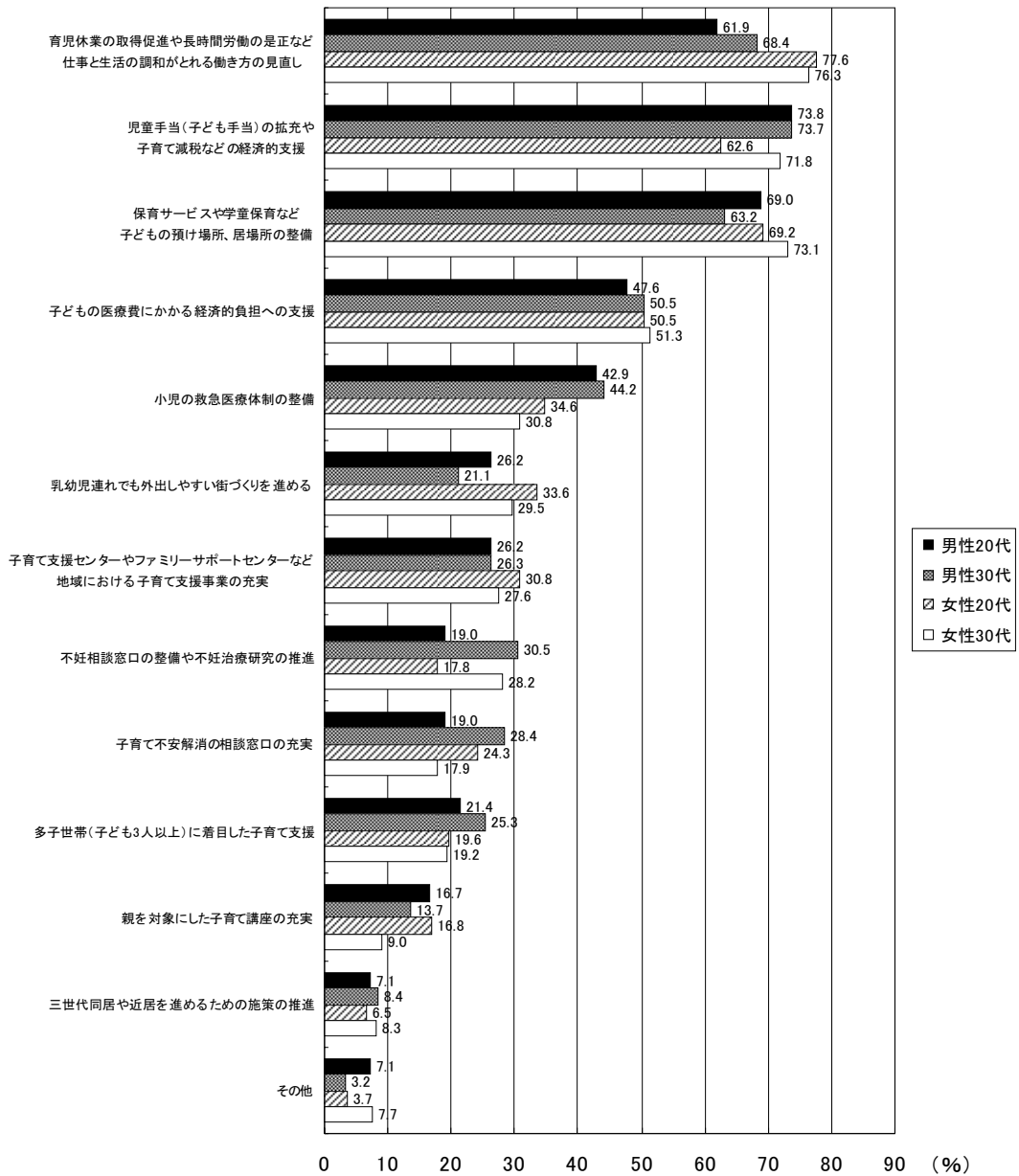
	N	方正育児見直し	児童手当	預け場所	子どもの医療費	小児の救急医療	乳幼児連れ	センター充実	不妊相談	子育て不安	多子世帯	親を対象	三世同居	その他	
全体	400	73.3	70.0	69.3	50.5	36.3	28.3	28.0	25.0	22.3	21.0	13.0	7.8	5.5	
＜性別・年代＞															
男性合計	137	66.4	73.7	65.0	49.6	43.8	22.6	26.3	27.0	25.5	24.1	14.6	8.0	4.4	
20代	42	61.9	73.8	69.0	47.6	42.9	26.2	26.2	19.0	19.0	21.4	16.7	7.1	7.1	
30代	95	68.4	73.7	63.2	50.5	44.2	21.1	26.3	30.5	28.4	25.3	13.7	8.4	3.2	
女性合計	263	76.8	68.1	71.5	51.0	32.3	31.2	28.9	24.0	20.5	19.4	12.2	7.6	6.1	
20代	107	77.6	62.6	69.2	50.5	34.6	33.6	30.8	17.8	24.3	19.6	16.8	6.5	3.7	
30代	156	76.3	71.8	73.1	51.3	30.8	29.5	27.6	28.2	17.9	19.2	9.0	8.3	7.7	
＜年代別＞															
20代	149	73.2	65.8	69.1	49.7	36.9	31.5	29.5	18.1	22.8	20.1	16.8	6.7	4.7	
30代	251	73.3	72.5	69.3	51.0	35.9	26.3	27.1	29.1	21.9	21.5	10.8	8.4	6.0	
＜結婚＞															
既婚	225	77.8	77.3	68.0	54.2	36.4	31.6	25.8	28.4	16.4	24.9	8.0	7.1	7.1	
未婚	175	67.4	60.6	70.9	45.7	36.0	24.0	30.9	20.6	29.7	16.0	19.4	8.6	3.4	
＜子どもの数＞															
1人	68	80.9	80.9	77.9	52.9	41.2	51.5	26.5	27.9	14.7	13.2	8.8	8.8	11.8	
2人	94	72.3	78.7	62.8	52.1	28.7	30.9	24.5	18.1	12.8	31.9	2.1	6.4	3.2	
3人以上	22	81.8	77.3	54.5	54.5	31.8	13.6	9.1	18.2	18.2	50.0	-	4.5	13.6	
子どもはいない	201	70.6	61.7	72.6	48.8	37.3	20.9	32.3	26.9	29.9	15.9	21.9	8.5	4.0	
＜一番上の子どもの年齢＞															
0～2歳	52	76.9	86.5	69.2	50.0	40.4	55.8	21.2	19.2	9.6	21.2	7.7	5.8	13.5	
3～5歳	47	87.2	74.5	70.2	51.1	34.0	38.3	21.3	21.3	17.0	25.5	4.3	8.5	6.4	
6～8歳	44	70.5	70.5	75.0	47.7	31.8	31.8	29.5	20.5	15.9	38.6	4.5	6.8	2.3	
9～11歳	24	66.7	83.3	66.7	70.8	33.3	20.8	29.2	25.0	8.3	20.8	-	12.5	8.3	
12歳以上	15	80.0	93.3	40.0	53.3	20.0	6.7	13.3	26.7	26.7	26.7	-	-	-	

全体では、拡充すべき政策について、「育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し」73.3%を筆頭に、「児童手当（子ども手当）の拡充や子育て減税などの経済的支援」70.0%、「保育サービスや学童保育など子どもの預け場所、居場所の整備」69.3%、「子どもの医療費にかかる経済的負担への支援」50.5%の順となっている。

性別で見ると、男女間で差異が大きいのは、「小児の救急医療体制の整備」男性43.8%に対し女性32.3%や「乳幼児連れでも外出しやすい街づくりを進める」男性22.6%に対し女性31.2%となっている。

このほか、「子育て不安解消の相談窓口の充実」、「親を対象にした子育て講座の充実」など情報提供にかかる回答も少なくない。

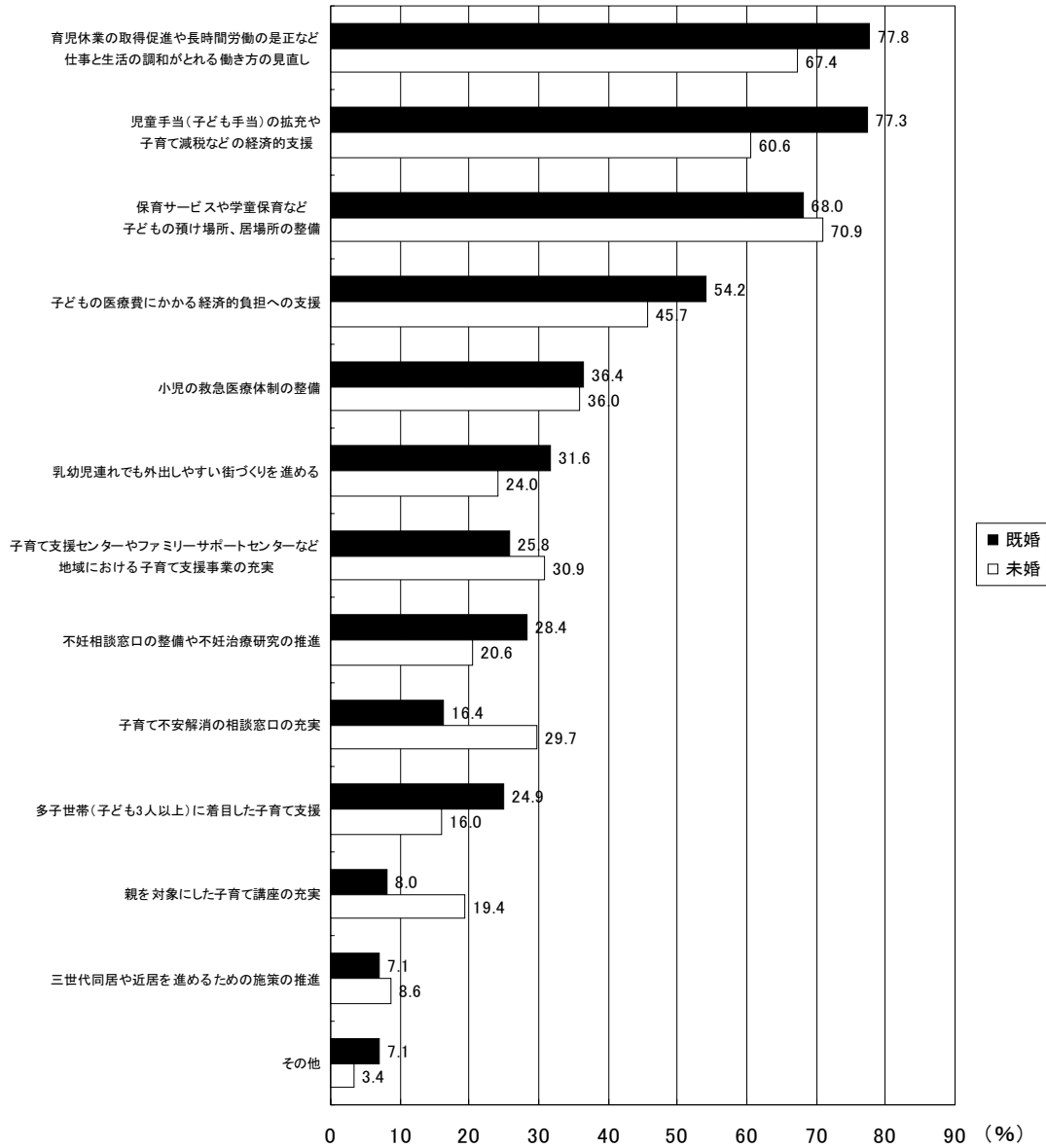
問14 子どもが欲しいと思える政策＜性別・年代＞



性別・年代でみると、子どもが欲しいと思える政策は、ともに「育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し」「児童手当(子ども手当)の拡充や子育て減税などの経済的支援」「保育サービスや学童保育など子どもの預け場所、居場所の整備」「子どもの医療費にかかる経済的負担への支援」の回答が多い。

20代では「乳幼児連れでも外出しやすい街づくりを進める」が男性26.2%、女性33.6%、30代では「不妊相談窓口の整備や不妊治療研究の推進」が男性30.5%、女性28.2%となっている。

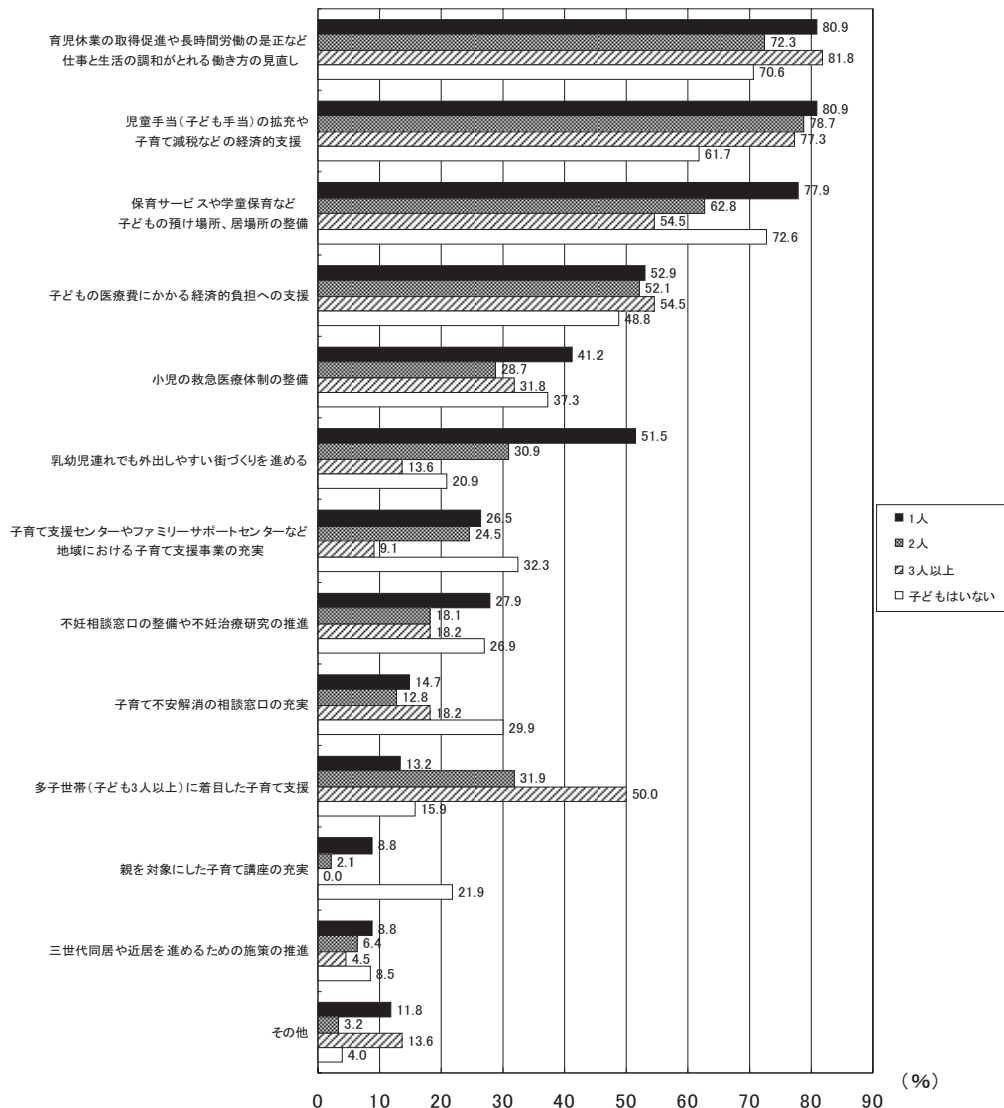
問14 子どもが欲しいと思える政策<既婚・未婚>



既婚・未婚でみると、子どもが欲しいと思える政策は、既婚、未婚ともに「育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し」「児童手当(子ども手当)の拡充や子育て減税などの経済的支援」「保育サービスや学童保育など子どもの預け場所、居場所の整備」の回答が多い。

既婚と未婚の差異が大きいのは、「子育て不安解消の相談窓口の充実」既婚 16.4% に対し未婚 29.7%や「親を対象にした子育て講座の充実」が既婚 8.0%に対し未婚 19.4%となっている。

問14 子どもが欲しいと思える政策<子どもの数>



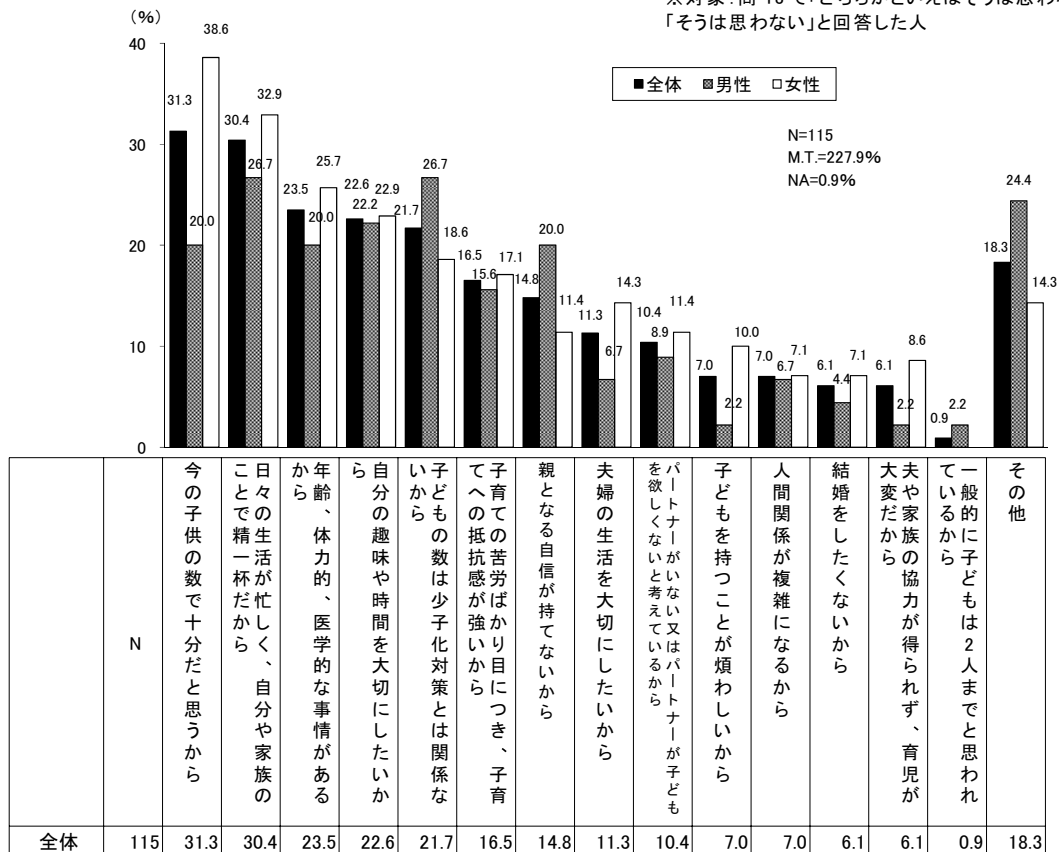
子どもの数でみると、子どもが欲しいと思える政策は、子どもの数が「1人」の人では、「育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し」「児童手当(子ども手当)の拡充や子育て減税などの経済的支援」がそれぞれ80.9%、「保育サービスや学童保育など子どもの預け場所、居場所の整備」が77.9%と高くなっているほか、「子どもの医療費にかかる経済的負担への支援」52.9%、「乳幼児連れでも外出しやすい街づくりを進める」51.5%となっている。

子どもの数が「2人」「3人以上」の人では「多子世帯(子ども3人以上)に着目した子育て支援」が31.9%、50.0%となっている。

「子どもはいない」人では、「子育て支援センターやファミリーサポートセンターなど地域における子育て支援事業の充実」32.3%、「子育て不安解消の相談窓口の充実」29.9%、「親を対象にした子育て講座の充実」21.9%において子どもを持つ人よりも支援を望む割合が高くなっている。

問 15 少子化対策を拡充しても、子どもが欲しい気持ちにならないと思うのはどうしてですか。あてはまるものをすべて選んでください。

※対象：問 13 で「どちらかといえばそうは思わない」または「そうは思わない」と回答した人



全体		115	31.3	30.4	23.5	22.6	21.7	16.5	14.8	11.3	10.4	7.0	7.0	6.1	6.1	0.9	18.3
<性別・年代>																	
男性合計	45	20.0	26.7	20.0	22.2	26.7	15.6	20.0	6.7	8.9	2.2	6.7	4.4	2.2	2.2	24.4	
20代	12	-	25.0	-	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	8.3	16.7
30代	33	27.3	27.3	27.3	18.2	24.2	15.2	21.2	3.0	12.1	3.0	9.1	6.1	3.0	-	27.3	
女性合計	70	38.6	32.9	25.7	22.9	18.6	17.1	11.4	14.3	11.4	10.0	7.1	7.1	8.6	-	14.3	
20代	10	10.0	40.0	10.0	40.0	10.0	50.0	30.0	30.0	30.0	20.0	10.0	20.0	10.0	-	20.0	
30代	60	43.3	31.7	28.3	20.0	20.0	11.7	8.3	11.7	8.3	8.3	6.7	5.0	8.3	-	13.3	
<年代別>																	
20代	22	4.5	31.8	4.5	36.4	22.7	31.8	22.7	22.7	13.6	9.1	4.5	9.1	4.5	4.5	18.2	
30代	93	37.6	30.1	28.0	19.4	21.5	12.9	12.9	8.6	9.7	6.5	7.5	5.4	6.5	-	18.3	
<結婚>																	
既婚	65	49.2	32.3	29.2	15.4	16.9	4.6	7.7	9.2	3.1	3.1	6.2	-	6.2	-	20.0	
未婚	50	8.0	28.0	16.0	32.0	28.0	32.0	24.0	14.0	20.0	12.0	8.0	14.0	6.0	2.0	16.0	

全体では、「今の子どもの数で十分だと思うから」が 31.3%、次いで「日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから」が 30.4%となっている。

20代および未婚者では「自分の趣味や時間を大切にしたいから」「子育ての苦労ばかり目につき子育てへの抵抗感が強いから」などをあげる人の割合が高くなっている。

10 自由回答

結婚・出産、少子化対策について、どんなことでも結構ですのでご意見をお書きください。

結婚・出産、少子化対策について、202件の意見、要望があった。
主な内容の項目と件数は次のとおりとなっている。

項目	件数
結婚関係 計	47
1 出会いの機会の創出	14
2 雇用や収入の安定化	10
3 情報の提供や意識啓発	6
4 その他	17
出産・育児関係 計	155
1 経済的な不安、経済的支援の要請	33
2 子どもの預け場所、居場所の整備	24
3 子育てしやすい職場環境づくり	20
4 情報の提供や意識啓発	17
5 雇用環境や収入の安定	12
6 子どもの医療費補助の要請	10
7 医療体制の充実	10
8 不妊治療支援	8
9 その他	21
合計	202

以下、主な意見、要望を列挙する。

結婚関係

1 出会いの機会の創出

- ・ 仕事をしていると、なかなか出会いの場がない／出会いを求める人のために、県でコミュニティサイトを立ち上げるなど、機会を増やすことが重要。(男性 20 代未婚、女性 20 代既婚、女性 30 代既婚)
- ・ 気軽に参加できる出会いの機会や工夫があれば良い。(男性 30 代既婚、女性 20 代未婚、女性 30 代未婚／既婚)
 - 一人でも参加しやすい工夫をしてほしい。例えば出会いパーティーに先立ち、女子会などの機会を作り、そこで出会った独身同士でパーティーに参加するなどの工夫。

- 週末ばかりでなく平日にも開いてほしい。
- 出会いの場に参加する場合、仕事の早退を認めるなどの環境づくり。
- ・ 出会いパーティーは 30 代～40 代前半向けも開催してほしい。富山市以外でもたくさん開催してほしい。(女性 30 代未婚)
- ・ 出会いイベントは、カップルがしやすいように、人と人とが関わりあえる内容や交流を深める内容にしてほしい。(女性 30 代既婚)

2 雇用や収入の安定化

- ・ 生活基盤が安定しなければ、結婚には踏み切れない。若者の雇用状況の改善にもっと取り組んでほしい。(女性 20 代既婚)
- ・ 低所得化、不況等を解消してほしい。(男性 30 代未婚)

3 情報の提供や意識啓発

- ・ 結婚に対して前向きになるような意識啓発が必要だと思う。(女性 30 代既婚)
- ・ 小・中・高一貫でライフプランをたてる時間をとり、年齢を重ねるごとにライフプランをどれだけ実現できたかなどの確認ができる様な、人生の想像力をトレーニングする場を作ることも必要ではないか。(女性 30 代既婚)
- ・ 結婚した人たちのエピソードや幸せな生活を載せた無料マガジン等があればいい。(女性 30 代未婚)

4 その他

- ・ 結婚すると「こんないいことがある」と思えるような企画、街づくり。(女性 30 代既婚)
- ・ 結婚後の生活しやすい環境作り、例えば、出産一時金の増加や保育園のシステムを変えるなど。(女性 30 代既婚)
- ・ もっと結婚に対する支援やサービスを充実させてほしい。(男性 30 代未婚)

出産・育児関係

1 経済的な不安、経済的支援の要請

- ・ 子育てにかかる費用を軽減してほしい。
 - 出産祝金／学費、保育費の助成、小学校 6 年生まで医療費負担をなくす／教育費・医療費などの無償化（高校、大学も）。経済的理由で、進学をあきらめるようなことのない保障制度。(男性 20 代未婚、男性 30 代既婚、女性 30 代既婚)
- ・ 3 人目以降への配慮がとても大切。保育園や幼稚園の無料化など／子ども 3 人を大学まで行かせられるように、経済支援をしてほしい。(女性 30 代未婚、女性 20 代既婚)
- ・ 子育て応援券を一人目から 2～3 万円にしてほしい。(女性 30 代既婚)

2 子どもの預け場所、居場所の整備

- ・一時預かりの場や、ベビーシッターをすぐに手配できる環境になれば、安心して子どもを産むことができると思う。(女性 20 代既婚)
- ・学童保育の充実(校区内にある事。預けやすい料金、パートだと料金によっては預けづらい)。(女性 30 代未婚/既婚)
- ・病児保育の充実。(女性 30 代既婚)

3 子育てしやすい職場環境づくり

- ・長時間労働の是正/時短勤務をもっと活用しやすい環境づくり。(男性 30 代既婚、女性 30 代既婚)
- ・育休の延長。せめて乳離れできる 1 年半～3 年にとれる会社づくり/育休が気軽に取得できるように、会社の意識を変えてもらえるような政策づくり。(男性 30 代既婚、女性 30 代既婚)
- ・男性も気楽に育児休暇をとれるようにしてほしい。(女性 20 代未婚、女性 30 代既婚)
- ・子育てしながら働きやすい社会の雰囲気づくりは大切。(女性 20 代既婚)

4 情報の提供や意識啓発

- ・小、中学校の教育で、結婚・出産・子育ての意義を話していくべき/子どものうちから結婚や出産がどのように大切なことなのか教えていくべき。(男性 30 代既婚、女性 30 代既婚)
- ・子育て支援やその情報をもっと積極的に、わかりやすくアピールしてほしい。(女性 20 代未婚)
- ・働く女性の家事や育児に対する負担が大きい。男性や社会の意識改革が必要。(女性 20 代未婚、女性 30 代既婚)
- ・若いお母さんたちの育児能力が低くなり子どもも 1 人か 2 人まで、もしくはいないとなっているように思える。もっとお母さんたちをサポートするものがあればいいのではないか。(女性 30 代既婚)

5 雇用環境や収入の安定

- ・無職、低賃金、不安定な雇用では到底将来に対する展望は描けないと思う。雇用機会や環境の拡充がより求められると思う/賃金アップ。(女性 20 代未婚/既婚)
- ・出産を機に仕事を辞めて、いまだに復帰できていない。子育てが仕事の障害とならないような雇用環境としてほしい。(女性 30 代既婚)

6 子どもの医療費補助の要請

- ・子どもの医療費補助は助かる。(男性 20 代未婚、男性 30 代既婚)
- ・子どもの医療費の負担を県として一律にすべき。中学校までは無料化/県全市で小学生(13 歳未満)は無料に統一すべき。(男性 30 代既婚、女性 30 代既婚)

7 医療体制の充実

- ・産婦人科、小児科の病院の充実。時間外でも相談できる場や窓口があれば安心。滑川、魚津、黒部、新川地区、南砺市内の産婦人科の充実。(女性 30 代既婚)
- ・産婦人科へ通う費用が掛かりすぎて、負担が大きい。(女性 20 代既婚)
- ・高齢出産のリスクの低減や、サポートが充実すればよい。(男性 30 代未婚、女性 30 代既婚)

8 不妊治療支援

- ・不妊治療や不育症などへの経済支援や補助、保険適用／本格的に取り組んでくれる医療機関が必要。(女性 20 代既婚、女性 30 代既婚)

9 その他

- ・子どもを安心して育てられる地域環境（子どもを遊ばせながらスーパーでの買い物ができるような仕組みや、役所に出向かなくても書類を提出や手続きできるなど）の整備。(男性 30 代既婚、女性 20 代未婚、女性 30 代未婚／既婚)
- ・子どもを連れて出かけたくなるイベントがもっと大きく、もっと参加しやすくなればよいと思う。(女性 30 代未婚)
- ・シングルファーザー・マザーへの理解、負担解消も進めばよい。(女性 30 代未婚)
- ・里親制度をもっと普及啓発して、子どもを育てる意識を変え、家族の在り方の選択の幅も広がれば結婚したいと思うところにつながる。(女性 30 代未婚)
- ・母乳育児をする人を増やす対策も考えてほしい。(女性 30 代既婚)

「結婚等に関する県民意識調査」への ご協力をお願い

アンケートご協力をお願い

この調査は、県内在住の20代から30代の皆さまを対象に結婚や出産についての率直な思いや意識をお伺いすることで、今後の県の結婚支援施策や少子化対策に役立てることを目的としております。

この調査は、無作為による抽選で選ばせていただいた方にお送りしております。ここでお聞きしたことを他の目的に使うことはありませんし、個人情報も、厳重に取り扱います。調査にご協力いただきますようお願いいたします。

調査票のご記入について

- 調査対象者ご自身がご記入くださいますようお願いいたします。
- ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
- この調査は、特に断りがない限り、平成23年12月1日 現在でお答えください。



調査票は、必要事項をご記入の上、同封の返信用封筒(切手不要)にて、**1月10日(火)**までにご返送くださいますようお願いいたします。

■お問い合わせ先

富山県知事政策局 少子化対策・子育て支援担当
TEL 076-444-4069

■調査票送付先

(株)スカイインテック 企画・調査部
TEL 076-431-8366

※この調査の集計分析業務は(株)スカイインテックに委託しております。

※年末年始休業 12/29(木)~1/3(火)

▼ あなたご自身のことについて、該当する数字を○で囲んでください。記入欄 (F2) には数字をご記入ください。

F1 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性

F2 あなたの年齢は？

_____ 歳

F3 あなたのお住まいの市町村は？

- | | | | |
|--------------|--|---------|---------|
| 1. 富山市〔旧富山市〕 | 2. 富山市
〔旧大沢野町、旧大山町
旧八尾町、旧婦中町
旧山田村、旧細入村〕 | 3. 高岡市 | 4. 魚津市 |
| 5. 氷見市 | | 6. 滑川市 | 7. 黒部市 |
| 8. 砺波市 | | 9. 小矢部市 | 10. 南砺市 |
| 11. 射水市 | 12. 舟橋村 | 13. 上市町 | 14. 立山町 |
| 15. 入善町 | 16. 朝日町 | | |

F4 あなたのご職業は？

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 自営業（自由業、家族従事者を含む） | 2. 雇用者（正社員、公務員などの正規職員） |
| 3. パートタイマー・派遣等の非正規雇用者 | 4. その他の仕事 |
| 5. 学生 | 6. 家事 |
| 7. 仕事はしていない（無職） | |

F5 あなたは結婚していますか？

1. 結婚している（既婚） 2. 結婚していない（未婚）

F6 あなたはお子さまがいらっしゃいますか？
あてはまるものを 1つ 選んでください。（1つに○）

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上 5. 子どもはいない

↓
「1」～「4」を選んだ方は、一番上のお子さまの年齢、一番下のお子さまの年齢をご記入ください。

一番上のお子さまの年齢 _____ 歳 2人以上の方：一番下のお子さまの年齢 _____ 歳

▼ 以下、質問です。該当する回答の数字を○で囲んでください。

問1 結婚についてあなたの考えに近いものを、次の中から1つ選んでください。(1つに○)

1. 結婚は必ずすべきだ
2. 結婚はしたほうがよい
3. 結婚はしなくても一緒に生活するパートナーはいたほうがよい
4. 結婚や一緒に生活するパートナーはいなくても恋人はいたほうがよい
5. 結婚や一緒に生活するパートナー、恋人は必ずしも必要でない
6. その他 ()

問2

「未婚」の方にお聞きします。

あなたは、将来結婚したいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

1. すぐにでも結婚したい
2. 2～3年以内に結婚したい
3. いずれは結婚したい
4. 結婚するつもりはない → 「4」を選んだ方は **問3** へお進みください。



問3

結婚相手に求める条件(既婚の人は「結婚相手に求めた条件」)は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 性格 | 2. 恋愛感情 |
| 3. 健康 | 4. 趣味 |
| 5. 職種 | 6. 学歴 |
| 7. 容姿 | 8. 経済力 |
| 9. 家事能力 | 10. 親の同意 |
| 11. 年齢 | 12. 自分の仕事に対する理解 |
| 13. 自分の親との同居 | 14. 自分と共通の価値観 |
| 15. その他 () | 16. 結婚相手に求める条件はない |

→ 「既婚」の方は **問4** へ、「未婚」の方は **問6** へお進みください。

問4

「既婚」の方にお聞きします。現在の配偶者とどのようなきっかけで知り合いになりましたか。次の中からもっともあてはまるものを1つ選んでください。(1つに○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 学校 | 2. 学校以外のサークルやクラブ活動・習い事 |
| 3. 職場や仕事の関係 | 4. 幼なじみ・隣人関係 |
| 5. 地域の活動 | 6. ボランティア活動 |
| 7. 友人や兄弟(姉妹)を通じた紹介 | 8. 見合い(親せき・上司の紹介も含む) |
| 9. 合コンやパーティー | 10. 結婚相談所 |
| 11. 街なかや旅行先 | 12. アルバイト先 |
| 13. インターネット | 14. その他() |

問5

「既婚」の方にお聞きします。現在の配偶者と交際を始める前、交際相手に出会うことを期待してどのようなことを行っていましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------------------|
| 1. 友人に紹介を頼んだ | 2. 職場の同僚や先輩に紹介を頼んだ |
| 3. 合コンやパーティーに行った | 4. ネットの出会い系サイトを利用した |
| 5. 趣味のサークルに入った | 6. スキルアップや資格取得のための学校に通った |
| 7. 親や親せきに紹介を頼んだ | 8. お見合いをした |
| 9. 民間の結婚支援事業を利用した | 10. 地方自治体やNPOなどの団体の結婚支援事業を利用した |
| 11. その他() | |
| 12. 特になにもしていない | |

➡ 次に 問8 へお進みください。

問6

「未婚」の方にお聞きします。現在結婚していない理由を、次の中から3つまで選んでください。(3つまで○)

- | | |
|--------------------------|-------------------|
| 1. まだ若いから | 2. 必要性・興味を感じない |
| 3. 仕事(学業)に打ち込みたい | 4. 趣味や娯楽を楽しみたい |
| 5. 自由や気楽さを失いたくない | 6. 仕事が忙しすぎるから |
| 7. 適当な相手にめぐり合わない | 8. 異性とうまくつきあえない |
| 9. 結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない | 10. 住宅のめどが立たない |
| 11. 相手がいるが親や周囲が同意しない | 12. 結婚生活をおくる自信がない |
| 13. その他() | |

問7

「未婚」の方にお聞きします。異性と交際する上での不安はありますか。

ある場合は、次の中から あてはまるものをすべて 選んでください。(○はいくつでも)

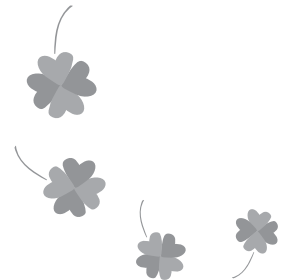
1. 気になる異性がいても、どのように声をかけてよいかわからない
2. どうしたら親しい異性と恋人になれるのかわからない
3. 恋愛交際の進め方がわからない
4. 異性との交際がなんとなくこわくて、交際に踏みきれない
5. 過去の失恋経験からまた異性にふられるのではないかと思う
6. 自分は異性に対して魅力がないのではないかと思う
7. 自分が恋愛感情を抱くことができるのか不安だ
8. そもそも異性との出会いの場所がわからない
9. その他 ()

問8

「全員」にお聞きします。

近年の少子化の原因の一つに、未婚化、晩婚化の進行が挙げられています。未婚化、晩婚化の理由についてあなたはどのように思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを 3つまで 選んでください。(3つまで○)

1. 独身生活のほうが自由だから
2. 結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなったから
3. 仕事のためには、独身のほうが都合がよいから
4. 仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上したから
5. 女性の仕事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから
6. 見合いや出会いの機会などを世話する人が減少したから
7. 適当な相手にめぐり合う機会が少ないから
8. 若者の親離れ・親の子離れができていないから
9. 高学歴社会になったから
10. 若者の経済的自立が難しくなったから
11. 恋愛や交際に消極的な男性（いわゆる草食男子）が増えたから
12. その他 ()



問15

問13で「3」か「4」を選んだ方にお聞きします。

あなたは、少子化対策を拡充しても、そのような気持ちにならないと思うのはどうしてですか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

1. 自分の趣味や時間を大切にしたいから
2. 夫婦の生活を大切にしたいから
3. 親となる自信が持てないから
4. 日々の生活が忙しく、自分や家族のことで精一杯だから
5. 子育ての苦労ばかり目につき、子育てへの抵抗感が強いから
6. 子どもを持つことが煩わしいから
7. 夫や家族の協力が得られず、育児が大変だから
8. 人間関係が複雑になるから
9. 今の子供の数で十分だと思うから
10. 一般的に子どもは2人までとされているから
11. 年齢、体力的、医学的な事情があるから
12. パートナーがいない又はパートナーが子どもを欲しくないと考えているから
13. 結婚をしたくないから
14. 子どもの数は少子化対策とは関係ないから
15. その他 ()

結婚・出産、少子化対策について、どんなことでも結構ですので、ご意見をお書きください。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。